



Withコロナ時代の付加価値が高いコンテンツとは・・・  
地域と都市部を結ぶ、自然グリーンツーリズムの可能性

公益財団法人 大阪観光局  
理事長 溝畑 宏

# ■ 本日の項目

## ①大阪観光局の取組

主要空港を有する都市型観光地として、目指す  
ゲートウェイ構想

## ②これからの付加価値観光素材

地域との連携

自然を織り込んだグリーンツーリズム

世界が憧れる「住んで良し」「働いて良し」「学んで良し」「訪れて良し」の

## 世界最高水準、アジアNo.1の国際観光文化都市

### ① 体験・感動

- 多様な食事、エンタメ、歴史、文化・芸術、レジャー等が楽しめる**アミューズメント都市**
- 様々な**プロスポーツ観戦**が楽しめる都市
- 世界中の芸術家等が集まる**文化・芸術都市**
- 面白いイベントを行う人が集う**イベント都市**
- 世界中の**富裕層を楽しませる特別な体験**を提供する都市

### ② 元気・活力

- **緑や花**がそばにある、**癒しのある都市**
- スポーツが盛んで、健康と生きがいを享受できる**健康増進都市**
- 世界中から優秀な人材が集まり、事業を起こし、雇用と富が生まれる**ビジネス都市**

### ③ 夢・希望

- **世界水準のMICE施設**を持ち、多数のMICEが開催され、人・モノ・情報が集まり、イノベーションと新しいビジネスが生まれる都市
- 持続的かつ健全な**経済発展**があり、多くの人々が余暇を楽しめる都市
- 再チャレンジを受け入れる都市

### ④ 多様性・共生

- 様々な**価値観**を受容し、**共存共栄**する都市
- 旅行者、留学生など来訪者を歓迎し、彼らが快適に滞在できる都市
- 弱者を助け、共に支えあう都市
- 日本中の**各地方都市に送客**し、**地方都市とともに栄える都市**

### ⑤ 復活・対応力

- 困難から迅速に復活し、変化に柔軟に対応する人々が集まる都市

### ⑥ 安全・安心・清潔

- 身の危険や感染症のリスクが低く、**快適に過ごせる都市**

### ⑦ 分散

- 特定の時期や場所に集中しない、多様な休暇の取り方とコンテンツが享受できる都市

### ⑧ 環境・みどり

- **ゼロカーボン社会**の実現
- 地球温暖化の抑制
- **生態系多様性**の維持

## 1. 大阪観光局のミッション (平成29年11月DMO法人登録)

大阪観光推進のプラットフォームとして、大阪への経済効果を最大化する

### ① 数を増やす

大阪が目的地として選ばれる取組み

### ② 質を上げる

着地後消費を最大化させる取組み

### ③ 波及させる

経済効果を持続・波及させる取組み



コロナ禍を受け、**量から質への転換を加速**

## 2. DMO事業展開における3つのコンセプト

24時間観光都市  
Anytime

関西・西日本観光のハブ  
Anywhere

多様性あふれる街  
Anybody

## 3. 万博・IRを見据えた活動目標

### ① 日本観光の「ショーケース」となる

多くの人々は大阪を通して日本を知るようになるため、大阪から日本各地の観光コンテンツを発信。

### ② 日本の観光の「トップランナー」となる

各分野のプロ集団となり、全国の関係者の手本とされ、頼られる存在となる。

### ③ 成長戦略の「起爆剤」となる

人と人を繋ぎ、新しいビジネスや価値を生み出し、持続的な経済発展をもたらす促進者となる。

### ④ 高付加価値MICE都市を目指す

参加者に高い満足度を提供し、経済効果を広範囲・長期的に波及させる都市となる。



## データに基づく市場別の マーケティング強化

消費動向調査  
(基礎調査)

AIの活用  
(データ活用・予測分析)

観光データベース  
(DMP)構築

体験予約サイト  
(データの蓄積)

Osaka Night Out  
(夜間経済活性化)

キャッシュレス促進

## 大阪の強みを活かす 事業展開

食の都 大阪

高付加価値  
MICE都市

スポーツ・ツーリズム  
& MICE

ウェルネス・ツーリズム

★ 歴史・文化・芸術

★ 府域内連携  
広域連携

★ 富裕層誘致

## 世界最高水準の受入環境整備

観光案内所  
コールセンター

多言語表示

梅田駅周辺  
サイン改善

Wi-Fiの整備

宿泊施設整備  
合法民泊

★ 感染症対策

社会問題対策  
災害対策

★ 留学生支援

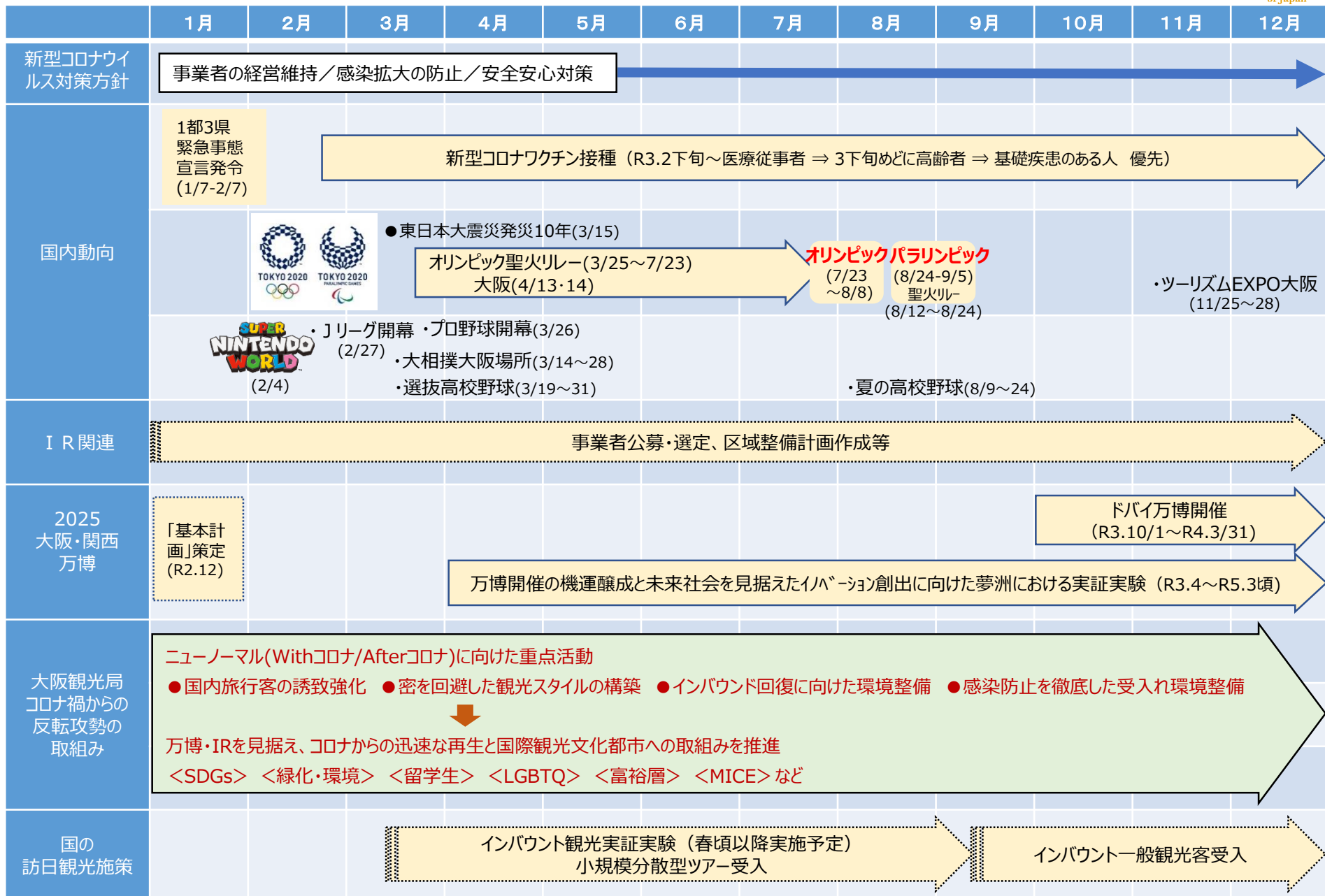
★ 多様な受入れ  
(LGBTQ・ムスリム等)

★ 緑化・環境  
への取り組み

# 【アジアNo.1の国際観光文化都市】へのロードマップ (想定含む)

区分	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年以降	2030年以降
フェーズ							
	<b>助走</b> <u>コロナ禍からの反転攻勢</u>		<b>HOP</b> <u>万博での飛躍を狙い、各事業で具体的活動の実行を重ね、成長を加速させる</u>			<b>STEP</b> <u>万博での成果を土台に、IR誘致を見据え総仕上げを行う</u>	<b>JUMP!!</b> <u>アジアNo.1の国際観光文化都市の実現へ</u>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●インバウンド一部再開</li> <li>●国内観光強化</li> <li>●経営者支援</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●冬オリパラ(北京)</li> <li>●ラグビーワールドカップ(フランス)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●夏オリパラ(パリ)</li> </ul>		
大規模イベント等	 TOKYO 2020 FOODEX JAPAN in 関西  聖徳太子没後1400年行事		 KANSAI WORLD MASTERS GAMES 2021 スポーツ博覧会 in 関西 2022 みどり関連のMICE誘致 (想定)		LGBTQソर्सリズム国際サミット開催 (想定)	 OSAKA KANSAI JAPAN EXPO 2025 食博覧会・大阪 2025	Velo-city Global (2026年想定) ISPO (IR開業時想定)
インフラ関係	 SUPER NINTENDO WORLD		中之島新美術館オープン	北大阪急行延伸開通 中之島未来医療国際拠点オープン	うめきた2期まちびらき	IR施設開業 (想定) 夢州ロンドラ整備 (想定) ヘリポート・スーパーヨットなど富裕層受入環境の整備(想定) 淀川左岸線2期一般共用開始(2027)	新大阪駅再開発 (2030) なにわ筋線開通 (2031) リニア中央新幹線(2037) 北陸新幹線乗入れ(2046)
来阪外国人 (単位:万人) ※観光局想定	350 (3~4割回復)	1,000 (8~9割回復)	1,300 (2019年超え)	1,400	1,500 (万博での飛躍)	→	2,000 (全国6,000)

# 【コロナ禍からの反転攻勢】 2021年ロードマップ



## 国内旅行客の誘致強化

### ■ 日本人の国内旅行消費額は外国人旅行者消費額の約4.5倍

日本人消費額 : 21兆9,312億円

訪日外国人消費額 : 4兆8,135億円

※2019年(観光庁統計)

- マイクロツーリズムへの取組み
- 府域内に眠る観光資源の磨き上げ
- 大阪楽遊パス(大阪観光新商品)の販売
- 民間事業者と連携した施策の強化(観光施設・飲食店等)
- 他都道府県・観光団体との連携強化

## 密を回避した観光スタイルの構築

- 旅行需要の平準化、休暇取得分散化の推進(平日旅行の需要喚起)
- ワークেশョンの推進(自然施設、温泉等)
- デジタル化の推進(アプリやQRコード)混雑状況把握システムなど
- 密にならない観光の促進(サイクリング、グランピング、キャンプ、ゴルフなど)
- 緑や花・自然を絡めた観光の推進
- MaaS(Mobility As A Service)の推進

## インバウンド回復に向けた環境整備

### ■ コロナ終息後に旅行したい国のランキングで日本は、アジアでは1位、欧米豪でも2位の高い人気を誇る

※日本政策投資銀行「アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査」(2020年8月)

- 量から質への転換(富裕層強化、消費額向上、MICE推進)
- テーマ型回遊ルート、広域周遊ルートの構築
- 多言語対応、無料Wi-Fi等のさらなる整備
- 安心・安全への取組みの情報発信強化

## 感染防止を徹底した受入れ環境整備

- 事業者と旅行者双方の感染拡大防止策の徹底(業種別ガイドライン、新たな旅のエチケット等の遵守)
- デジタル化の推進(アプリやQRコード)追跡システムなど
- 非接触での観光案内の推進(AIチャットボットの精度向上)
- キャッシュレス決済の普及促進

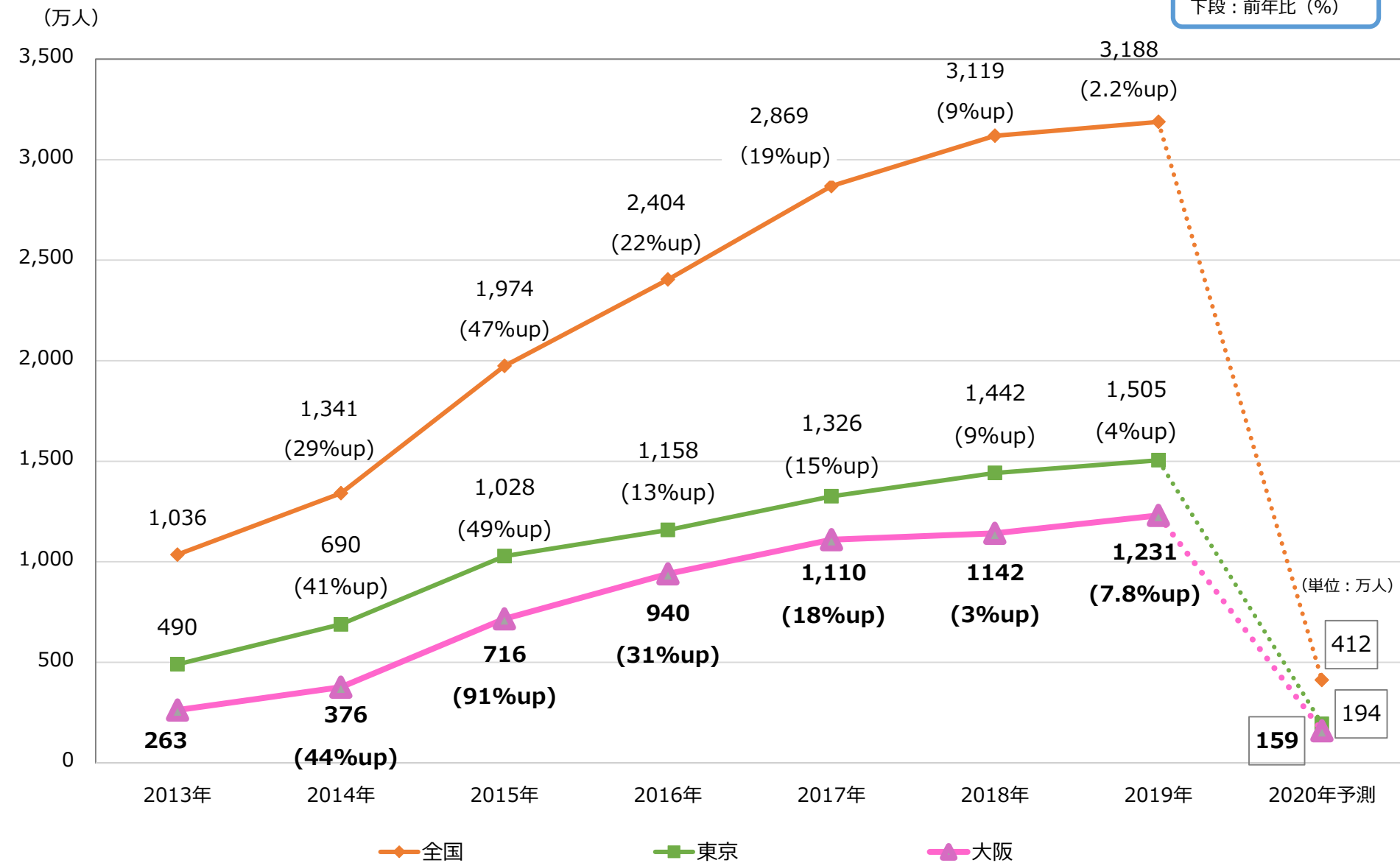


万博・IRを見据え、コロナからの迅速な再生と国際観光文化都市への取組みを推進

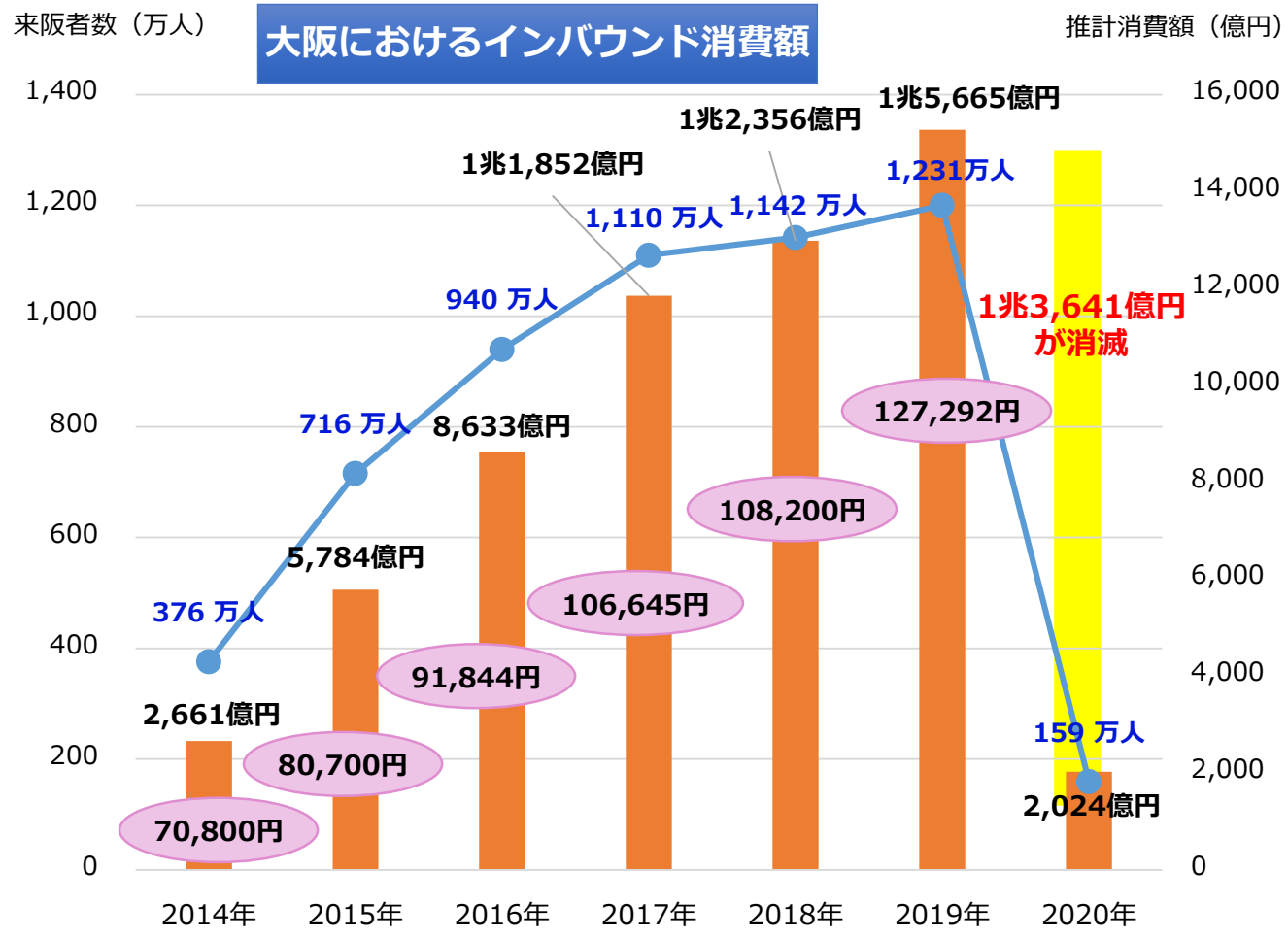
<SDGs> <緑化・環境> <留学生> <LGBTQ> <富裕層> <MICE> など

# 訪日外国人客数の推移 (2013年~2020年予測)

上段：人数(万人)  
下段：前年比 (%)



※2020年予測 (東京・大阪) は大阪観光局推計



○ × ○ = □  
 人数 × 消費単価 = 推計消費額

大阪におけるインバウンド観光消費は、  
約1兆3,641億円消滅した。

↓

**持続可能な観光収入を生み出す  
施策を策定・実施する必要がある！**

区 分	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年 (予測)
来阪外国人数	376 万人	716 万人	940 万人	1,110万人	1,142 万人	1,231 万人	159 万人
1人あたり消費単価	70,800 円	80,700 円	91,844円	106,645 円	108,200 円	127,292 円	127,292 円 ※ 前年並みと仮定
消費額推計	2,661億円	5,784 億円	8,633億円	1兆 1,852億円	1兆 2,356億円	1兆 5,665億円	2,024億円

# 関西のポテンシャル

## スポーツ・健康

- ◆スポーツイベントツーリズム
  - ・スポーツ・文化ダボス（2017）
  - ・ラグビーワールドカップ（2019）
  - ・オリパラキャンプ（2020）
  - ・ワールドマスターズ（2021）
- ◆予防（先制）医療と連携した健康長寿
  - ・アンチエイジングな暮らしを支えるヘルスケア

## 文化力

- ◆文化イベント
  - ・スポーツ・文化ダボス（2017）
- ◆文化芸術創造都市（アーティスト・イン・レジデンス）
  - ・外国人芸術家を受け入れ
- ◆オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラム
- ◆食や伝統芸能の発信
- ◆観光インバウンドの促進（クールジャパンやおもてなしの魅力）

## 関西の強み

- ▶人口2000万人→数多の優れた人材を輩出
- ▶最先端イノベーション地域
  - ・東大阪を中心とするものづくり「まいど1号」等
  - ・創薬、医療機関、健康食品等の産業基盤と大学・研究機関の集積
- ▶世界遺産
  - ・古都京都・奈良の文化財
  - ・紀伊山地（熊野古道）
- ▶スポーツの聖地
  - ・甲子園球場・花園ラグビー場

## 科学技術イノベーション

- ◆ライフ・グリーンイノベーション
  - ・革新的創薬、医療機器開発
  - ・再生可能エネルギーやエネルギーマネジメントシステムの開発
- ◆関西から「リサーチ・イン・ジャパン」を発信
  - ・海外研究者の招聘

## 関西元気文化圏

Spring・8.SACLA  
播磨科学公園都市

神戸医療産業都市  
スパコン「京」

関西国際空港

アジアへ  
世界へ

古都京都  
(世界遺産)

けいはんな学研都市

花園ラグビー場

古都奈良  
(世界遺産)

熊野古道  
(世界遺産)

北海道

東北

東京

東海

九州

日本全体の  
活力源

## 人材力

- ◆民間力の活用
  - ・国際バカロレア、理数、英語教育
- ◆グローバル化やICTへの対応
  - ・特別支援教育などの質の高い教育

2020年に向けて、地球力を一致団結  
関西発の夢ビジョン「KANSAI」

(世界に向けた競争力 いきいき関西から文化力)



## ■瀬戸内との連携により相乗効果を誘発



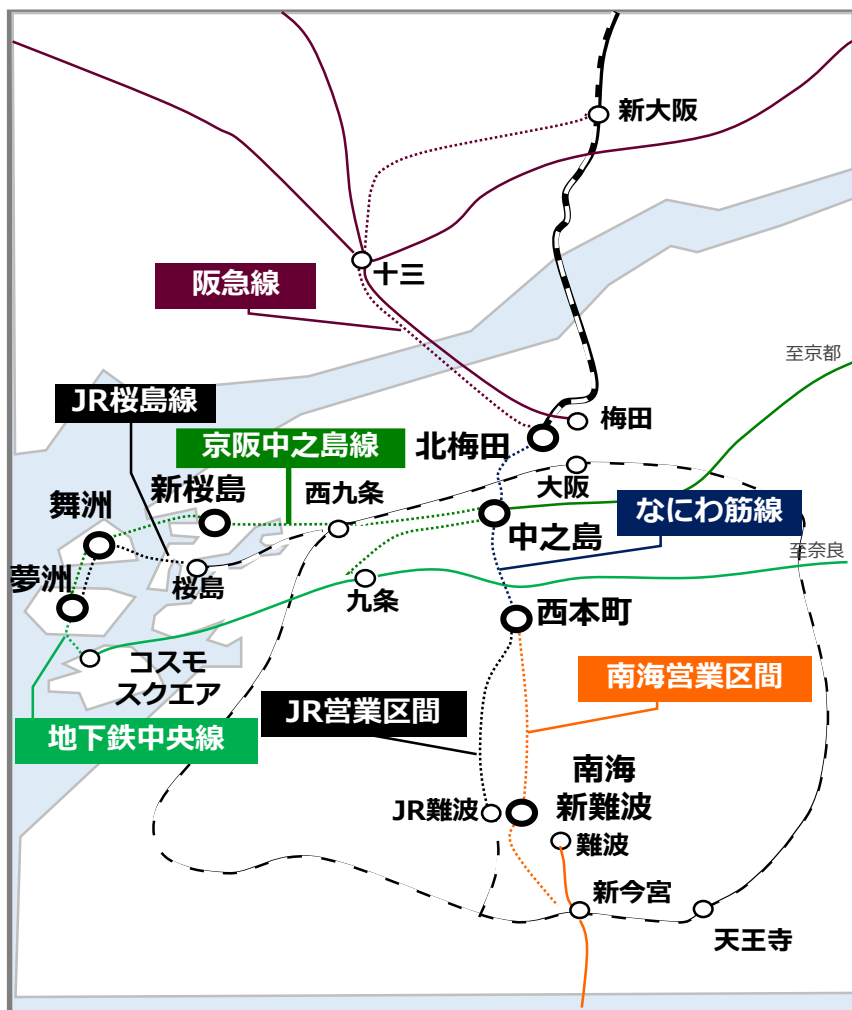
瀬戸内は、日本有数の自然景観を有し、瀬戸内クルーズや瀬戸内国際芸術祭など世界から人を集める潜在能力が高いエリア



# 鉄道延伸

大阪での大型開発プロジェクトに付随し、関西国際空港や大阪空港などとの接続も含めたアクセス改善に向け、鉄道延伸が複数検討されており、中長期的に多額のインフラ投資が見込まれます。

## ■ 路線図 (想定含む)

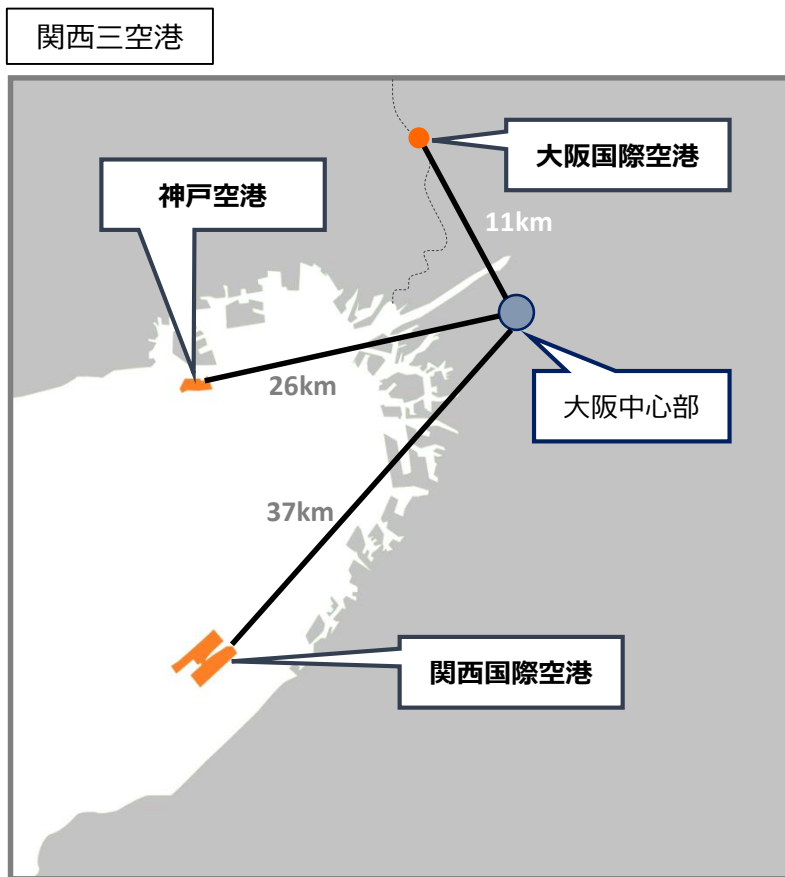


## ■ 鉄道延伸の動向 (構想段階のもの、想定含む)

路線	区間
JR 東海道本線	北梅田(仮称) ~ 新大阪
JR なにわ筋線	北梅田(仮称) ~ 難波 (北梅田~西本町は南海と共同営業)
JR 桜島線	桜島 ~ 夢洲
大阪メトロ 中央線	コスモスクエア ~ 夢洲
京阪 中之島線	中之島 ~ 九条 中之島 ~ 西九条 ~ 夢洲
南海 なにわ筋線	北梅田(仮称) ~ 新今宮 (北梅田~西本町はJRと共同営業)
阪急	北梅田(仮称)/西梅田 ~ 十三 ~ 新大阪 曾根 ~ 大阪空港(仮称)

(出所) 三井住友銀行作成資料より抜粋

# 3空港の概要



	関西国際空港	大阪国際(伊丹)空港	神戸空港
設置・管理者 運営権者	新関西国際空港(株) 関西エアポート(株)	新関西国際空港(株) 関西エアポート(株)	神戸市
開港日	1994年9月4日	1958年3月18日※ ※「大阪空港」として開港	2006年2月16日
滑走路	3,500m×1本 4,000m×1本※	1,828m×1本 3,000m×1本※	2,500m×1本
2017年 総旅客数	2,799万人 国際 2,114万人 国内 685万人	1,560万人	311万人※
運用時間	24時間	7:00~21:00	7:00~22:00
発着制限	—	370回/日 (うちジェット枠 200回/日)	60回/日
役割分担 の考え方 (2005.11 関西3 空港懇談会にて航空 局より説明し了解)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西日本を中心とする国際拠点空港</li> <li>・関西圏の国内線の基幹空港</li> <li>・国際線は関西国際空港に限定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西圏の国内線の基幹空港</li> <li>・環境と調和した都市型空港</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸市及びその周辺の国内航空需要に対応する空港</li> </ul>

※大阪航空局速報値資料より

## 一刻も早い回復に向け、最大限の努力を行う！

2020年

- 観光関連事業者の経営維持支援
- 反転攻勢の準備
- 国内旅行を重点的に強化
- インバウンドは国の方向性を見ながら段階的に戻す

インバウンド来阪者数 2015年 716万人 ▶ 2019年 1,231万人 ▶ 2020年目標 1,300万人

2021年

- 東京オリンピック・パラリンピック
- コロナ前の3~4割水準への回復

2022年

- コロナ前の水準に戻す  
(インバウンド来阪者数は、2020年当初目標の1,300万人を目指す)

2025年

- 日本国際博覧会 (EXPO2025)
- インバウンド来阪者数は、1,500万人(仮想定)を目指す

# 1. 万博とは

世界中の人々が参加する国家プロジェクト〔人類共通の課題を解決する場〕

## 登録博覧会

### 【大規模博覧会】

- ・5年に1回開催、期間は6か月以内

### 【国内での開催実績】

- ・大阪万博（1970）
- ・愛知万博（2005）

➤めざすのは2025年万博

## 認定博覧会

### 【小規模博覧会】

- ・2回の登録博の間に1回開催、期間は3か月以内

### 【国内での開催実績】

- ・沖縄国際海洋博覧会（1975）
- ・国際科学技術博覧会（1985）
- ・国際花と緑の博覧会（1990）

➤ 2025年万博の開催が実現すると、日本として20年ぶり、大阪として55年ぶり

# 2. なぜ、万博開催をめざすのか

2020年オリンピック・パラリンピック後も成長を維持させることが重要

## <大阪・関西の強み>

- 世界から先進的な知を集めるにふさわしい歴史的文化的な背景を有している。
  - 難波津のように、古代より遣隋使等の玄関口として広く世界に開かれてきた
- ライフサイエンス分野の集積、健康に密接に関係する「食」「スポーツ」「笑い」などの分野が多様かつ幅広く集積
  - 関西には、北大阪バイオクラスターや京都大学iPS細胞研究など研究機関、企業が集積

大阪・関西の強みを世界に発信、成長の起爆剤に

### 3. 万博の開催概要

■テーマ 「いのち輝く未来社会のデザイン」 ～Designing Future Society for Our Lives～

■サブテーマ

○Saving Lives(いのちを救う) ○Empowering Lives(いのちに力を与える) ○Connecting Lives(いのちをつなぐ)

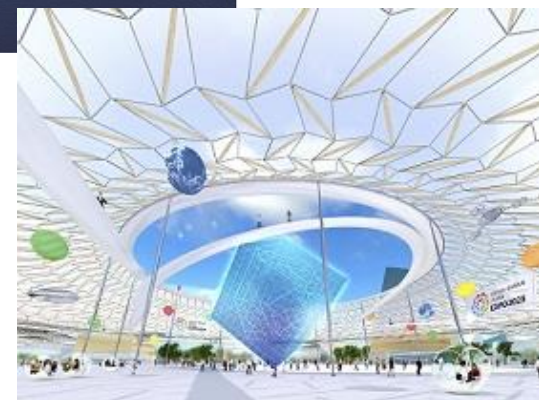
■コンセプト -People's Living Lab- 未来社会の実験場

■開催期間 2025年4月13日(日)～10月13日(月)

■入場者想定規模 約2800万人

■開催場所

- ・夢洲(人工島)約155ha
- ・5つの大広場や水上施設も設置。



■アクセス

- ・公共交通機関  
⇒大阪市内主要駅からシャトルバス運行  
⇒大阪市内地下鉄中央線の延伸計画 等
- ・道路⇒交通需要マネジメントの検討 等
- ・その他  
⇒海上アクセスや大阪市内からの舟運の検討

■開催経費

- ・会場建設費… 約1250億円程度
- ・運営費… 約800～830億円程度と試算

■経済波及効果

- ・万博開催の経済波及効果は約2兆円と試算。
- ・この効果を日本全国へ波及させる
- ・大阪・関西が東京とは異なる強みで、日本の成長をけん引。

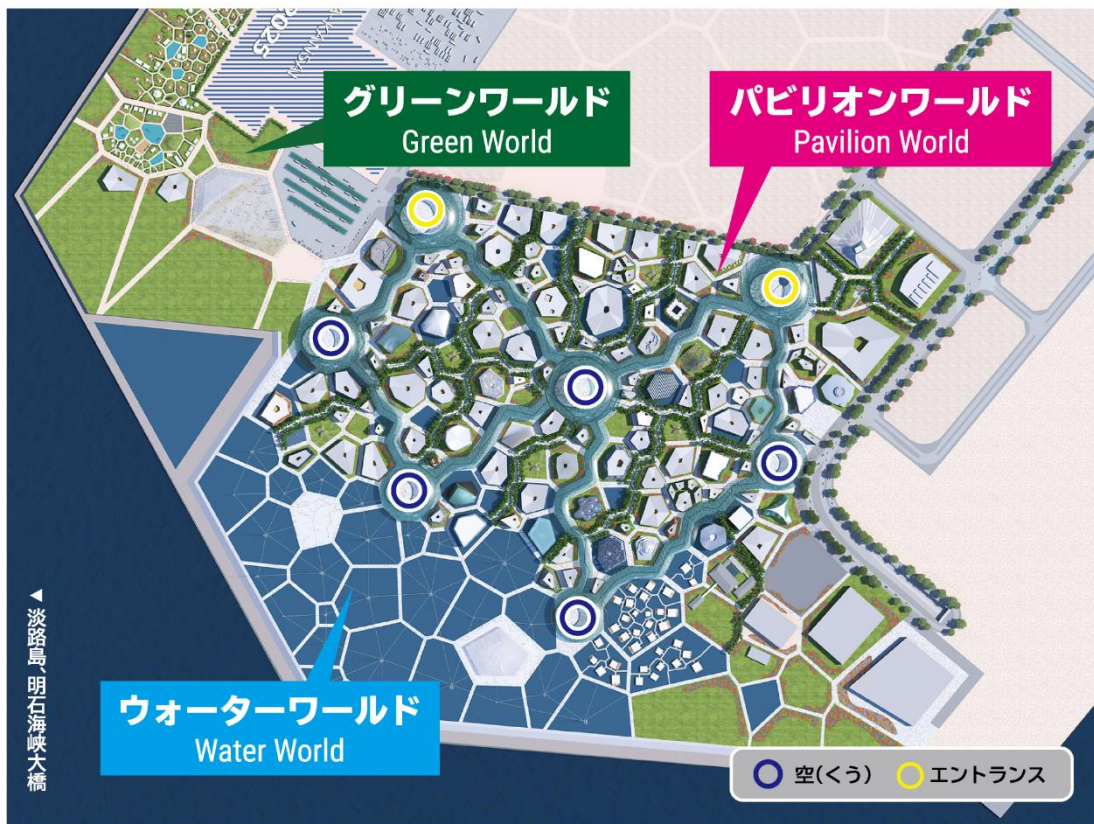
# 大阪・関西万博の概要

テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
サブテーマ	Saving Lives (いのちを救う) Empowering Lives (いのちに力を与える) Connecting Lives (いのちをつなぐ)
コンセプト	People's Living Lab (未来社会の実験場)
会場	夢洲 (大阪市此花区)
開催期間	2025年4月13日 (日) - 10月13日 (月)
想定入場者数	約2,800万人

(出典) 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会「未来を共創する」2025年日本国際博覧会」より作成



# 会場イメージ



## Pavilion World パビリオンワールド

あえて中心をつくらない離散型の会場デザイン。個と個の関係、多様性の中から生まれる調和と共創によって形成される未来社会を表現。2つのエントランスと5つの大広場をつなぐようにメイン通りを設置し、その上には大屋根を設置。

## Green World グリーンワールド

再生可能エネルギー施設・広場・グランピング施設などで構成。

## Water World ウォーターワールド

水上ホテル・VIP用レセプション施設で構成され、花火や噴水で演出。



**大広場：「空」** | 「空」とは、固定的実体、もしくは我のないことや、実体性を欠いていることを意味する。

会場内の5カ所に「空」(くう)と呼ばれる大広場を設置。AR・MR※技術を活用した展示やイベントなどを行い、来場者の交流の場とする。

※AR:拡張現実、MR:複合現実



## 来場者にやさしい会場

メイン通りの間をつなぐ通りには水路や緑の並木を整備。

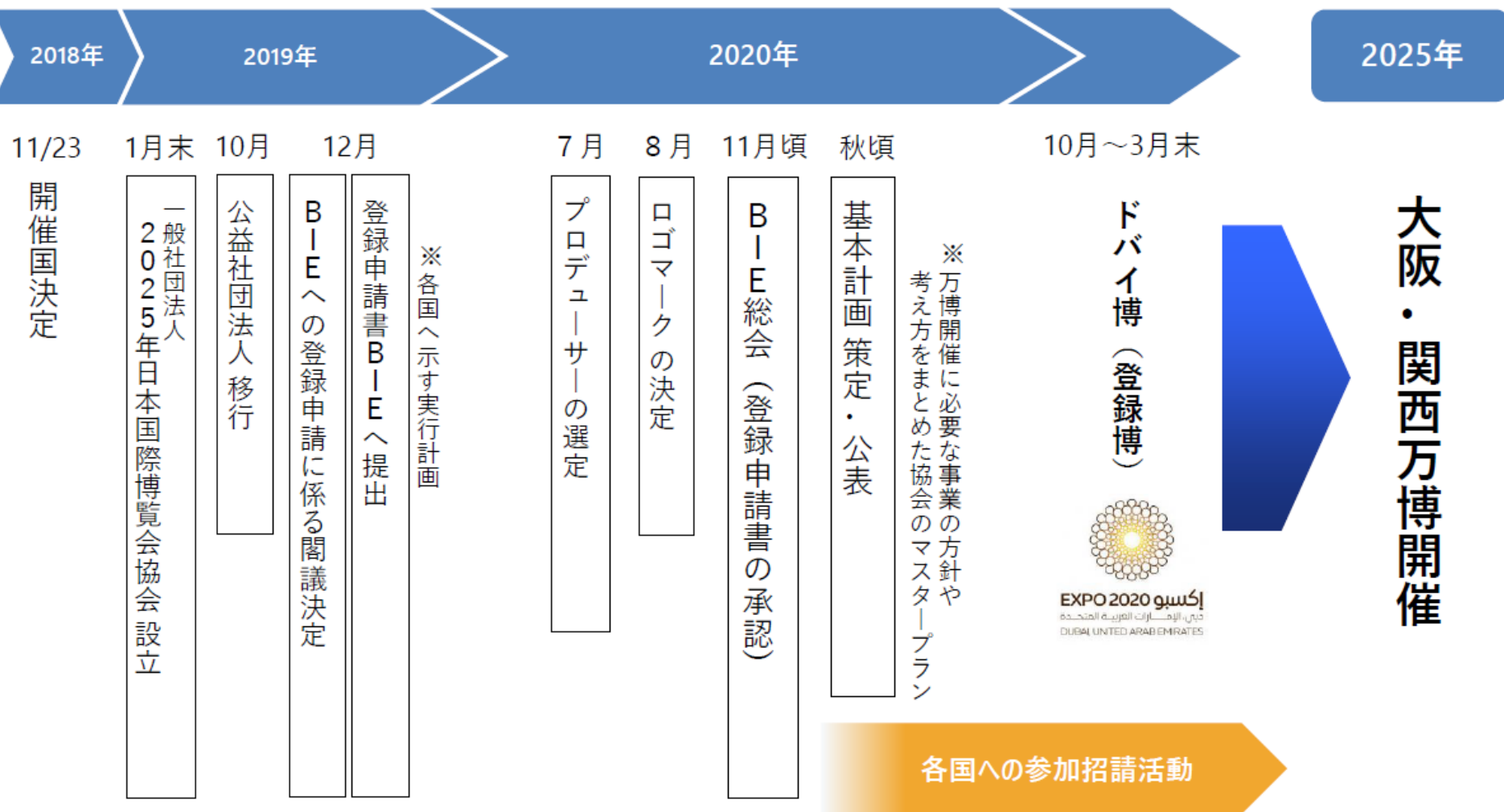


## 美しい景観

南西側を望む夕景の会場鳥瞰図。淡路島、明石海峡大橋を背景に、美しい景観が広がる。

【資料提供:経済産業省】

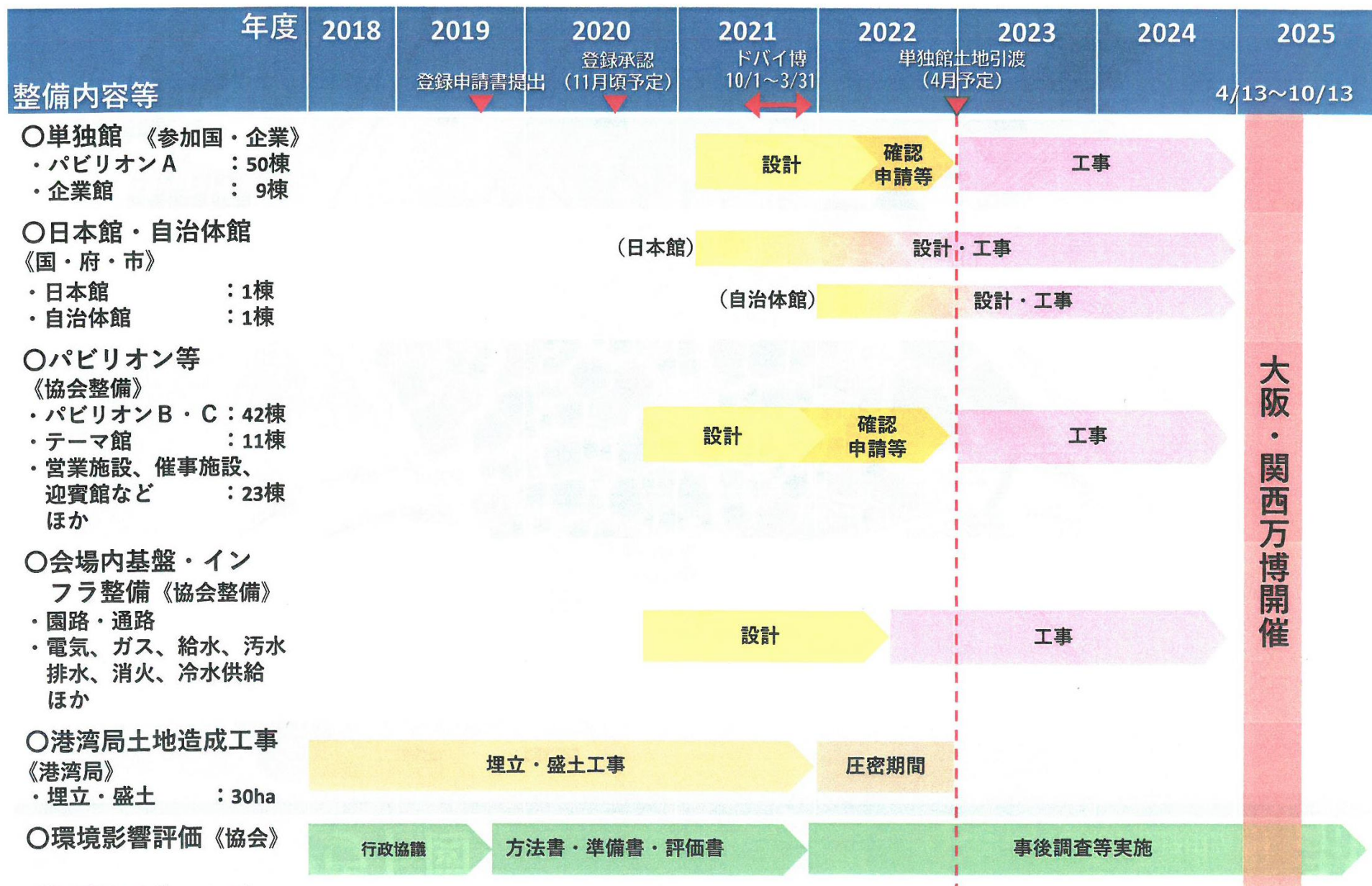
# 今後の主なスケジュール



(出典) 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会「未来を共創する」2025年日本国際博覧会」より作成



# 会場整備スケジュール（案）



※上記は想定スケジュールです。

# 会場構想（めざす万博のイメージ）

## ■「待ち時間ゼロ」の万博

- 会場内の移動時間等を活用した参加型実証実験を行うことで、体験あふれる環境を提供
- IoT活用により、施設の空き状況を明確化し、会場を快適に巡ることができる



## ■「EXPOテーマ体験」プログラム

- 来場前にPeople's Living Labの特設サイト上のバーチャル会場では出迎えの演出
- 来場者へのオリエンテーションとガイダンスを通して、テーマやメッセージを映像や展示を中心に紹介
- 未来社会の共創の体験ができるプログラムを実施



⇒「10歳若返る万博」「健康になる万博」をめざす

# 「TEAM EXPO 2025」プログラム

※後ほど詳細を説明いたします

人類共通の課題解決に向けた大きなムーブメントを起こす  
「TEAM EXPO 2025」プログラムを立ち上げ

開催前から、社会課題に取り組む  
大学、自治体、NPO、個人、企業等による  
組織を越えた「共創」を促進



2020年  
取り組みスタート

2025年には、万博会場を世界中から優れた社会課題解決事例  
が集積する「SDGsの甲子園」のような場に

2025年  
大阪・関西万博へ

地域の魅力・取組みを  
世界へ発信

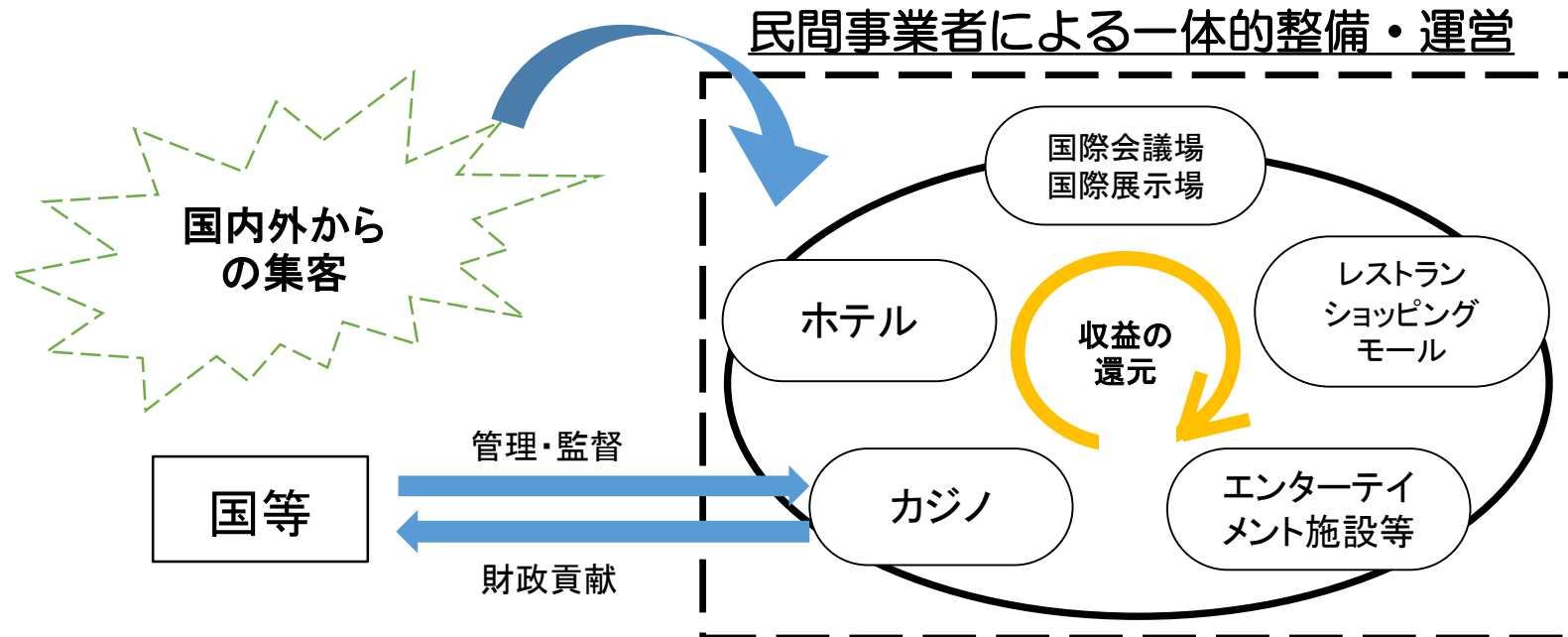
万博や社会課題解決を学ぶ  
小・中学校での教育プログラムの開発  
(大阪府教育庁との連携)





# IR（統合型リゾート）とは？

- 「カジノ施設」と「観光振興に寄与する諸施設」が一体となっている施設群
- カジノの収益により、大規模な投資を伴う施設の採算性を担保
- 民間事業者の投資による
  - ・集客及び収益を通じた観光地域振興
  - ・新たな財政への貢献



(出典)「第1回特定複合観光施設区域整備推進会議」資料よりIR推進局作成

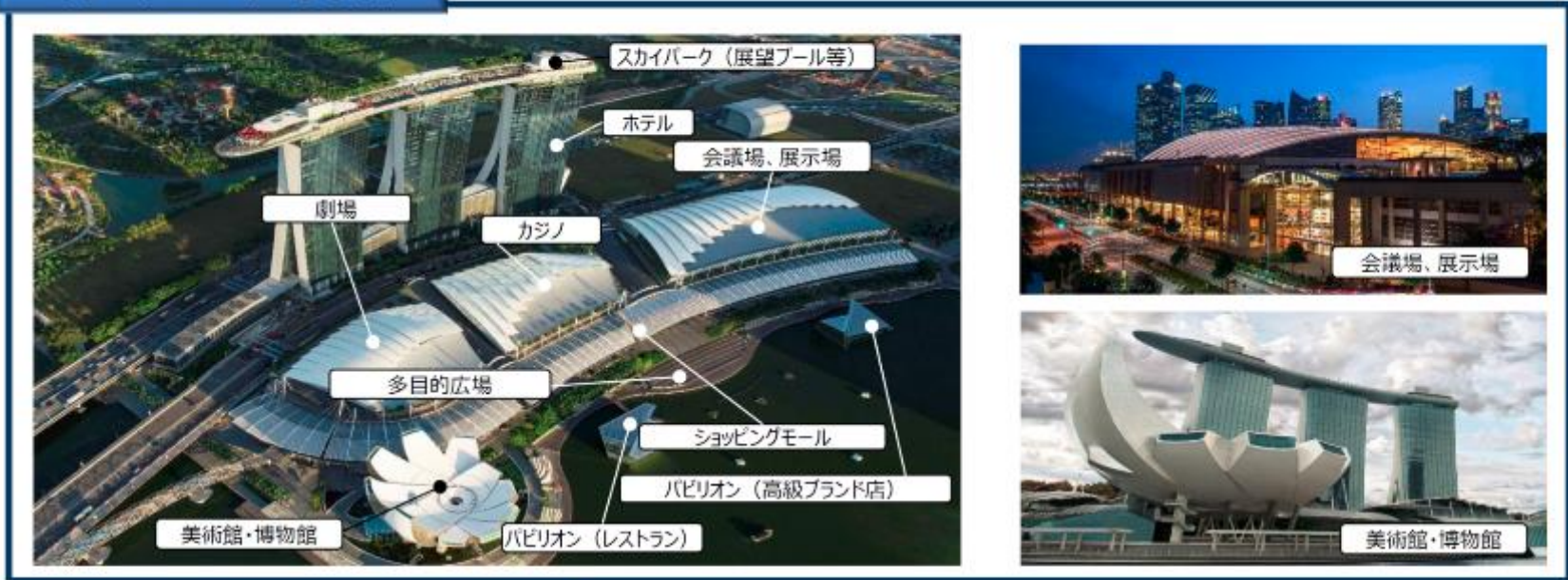
【「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律」における定義】

カジノ施設及び会議場施設、レクリエーション施設、展示施設、宿泊施設その他の観光の振興に寄与すると認められる施設が一体となっている施設であって、民間事業者が設置及び運営をするもの



# (参考) シンガポールの I R の例

## マリーナ・ベイ・サンズ



## リゾート・ワールド・セントーサ



(出典) 特定複合観光施設区域整備法に係る説明会 説明資料 (2018.12)

# 大阪 I R のめざす姿

## 基本コンセプト

大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとなる  
**世界最高水準の成長型 I R**

- ◆ 世界中から人・モノ・投資を呼び込み、経済成長のエンジンとするため、ビジネス客、ファミリー層など世界の幅広い層をターゲットとする「世界最高水準」の I R
- ◆ 50年・100年先を見据え、初期投資だけでなく、常に時代の最先端となる施設・機能とサービスで変化を遂げる「成長型」の I R

### ◆ 成長の方向性

時間軸に沿った  
成長・発展

夢と未来を  
創造する I R

ひろがり・  
つながりを  
生み出す I R

空間軸に沿った  
成長・波及

ポテンシャルを  
活かした価値創出

「夢洲」を  
活かす I R

## 大阪 I R の想定事業モデル

(数値は概算)

- ◆ 敷地面積：約60ha
- ◆ 投資規模：9,300億円
- ◆ 施設規模：総延床面積 100万㎡
- ◆ 年間来場者数：1,500万人/年
  - 延利用者数：2,480万人/年 うちゲーミング施設：1,890万人/年
  - ゲーミング施設：590万人/年
- ◆ 年間売上：4,800億円/年
  - うちゲーミング：1,000億円/年
  - ゲーミング(GGR)：3,800億円/年

### < 大阪・関西の持続的な成長に向けて >

- ・ 行政・地域・IR事業者による協議体の設置
- ・ 施設・サービスの魅力向上に向けた継続的な投資による好循環の実現





# 夢洲まちづくりの方向性 ～国際観光拠点の形成に向けて～

## 夢洲まちづくりのイメージ

### ○ 土地利用の方針

#### 【第1期（70ha）】

##### 統合型リゾート（IR）を中心としたまちづくり

魅力的なエンターテインメントの集積、国際競争力を有するMICE施設の整備やICT等最先端技術を活用したスマートなまちづくりによる国際観光拠点形成

- 《導入施設》
- ・国際会議場および展示施設
  - ・魅力増進施設（注1）
  - ・送客施設（注2）
  - ・宿泊施設 等

【注1】

- ・我が国の観光の増進に資する劇場、演芸場、音楽堂、競技場、映画館、博物館、美術館、レストランその他の施設

【注2】

- ・各地の様々な観光情報の提供や来訪者の要望に沿った旅行の手配などを行う施設

#### 【第2期（60ha）】

##### 万博の理念を継承したまちづくり

万博の理念を継承し、最先端の取り組みなどを進めるとともに、大規模なエンターテインメント・レクリエーション機能導入、第1期において創出されたにぎわいの継承などによりまちづくりを進めることで、第1期のまちづくりと合わせて国際観光拠点機能の更なる強化を図る。

- 《導入機能例》
- ・最先端技術・研究などの実験・実証、情報発信機能
  - ・宿泊機能
  - ・大規模エンタメ・レクリエーション機能 等

#### 【第3期（40ha）】

##### 第1・2期の取り組みを活かした 長期滞在型のまちづくり

第1・2期で創出・醸成されたエンターテインメントや最先端技術等により、健康や長寿につながる長期滞在型の上質なリゾート空間の形成

- 《導入機能例》
- ・第1期及び第2期に導入される機能（エンターテインメント、産業・ビジネスなど）の拡充
  - ・長期滞在型リゾート機能
  - ・ウェルネスツーリズム 等

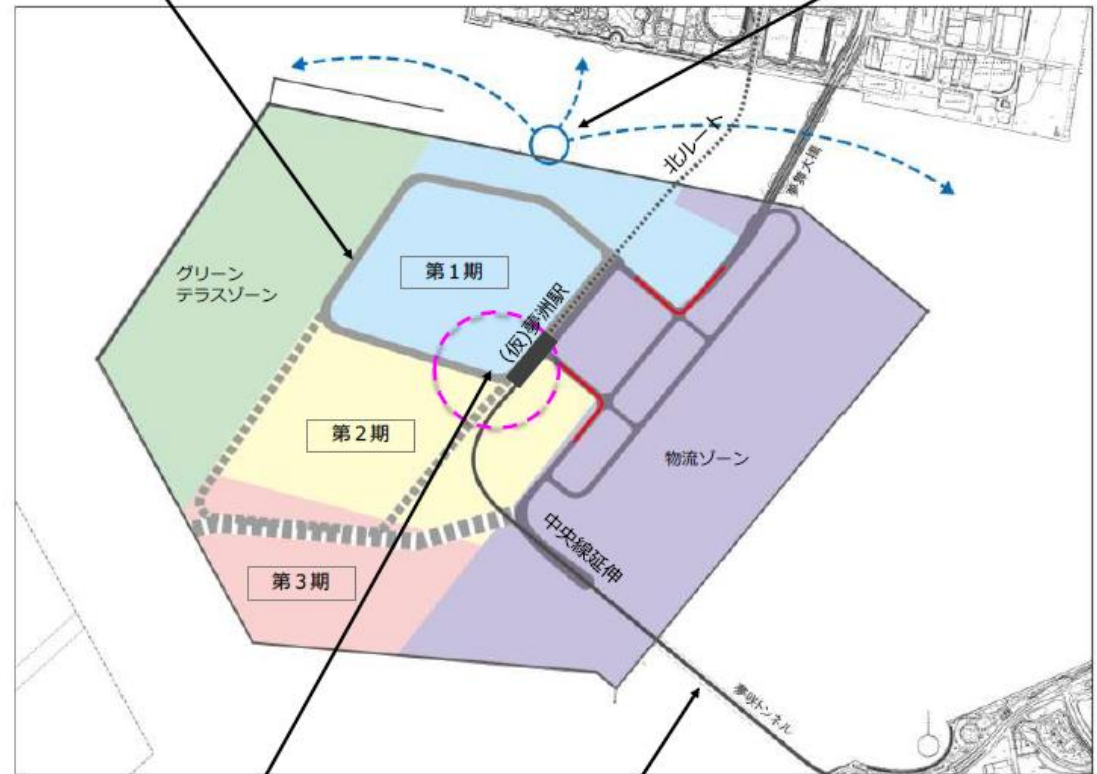
### ○ インフラ等の整備方針

#### 【道路】

観光ゾーンの外縁部に整備することとし、第1期においては、北側の水際線（臨港緑地）と建築物等による親水性の高い空間形成を可能とする位置に配置する。第2期以降については、開発時期に合わせ段階的に整備することとする。

#### 【海上アクセス拠点】

関空はもとより、多くの他のエリアからのアプローチを可能とする海上アクセス拠点を、臨港緑地との一体性に配慮しながら北側水際線に整備し、来訪者の利便性の向上及び集客力の強化を図る。



#### 【駅前空間（駅前広場）】

夢洲の玄関口となる駅前広場を地下駅との連続性や夢洲内外からのアクセス拠点となること等に配慮するとともに、にぎわい交流の場として、アメニティの高い空間を整備する。

#### 【鉄道】

港湾機能や国際観光拠点などを支える鉄道網の整備により、交通負荷の分散に寄与し、周辺道路交通等に与える影響の軽減を図る。＊北ルートについては、第2期以降の段階的な土地利用の状況に応じ検討



# 大阪 I R の機能・施設①

大阪 I R が有すべき機能・施設

## 成長の方向性

夢と未来を  
創造する I R

ひろがり・つながりを  
生み出す I R

「夢洲」を  
活かす I R

### 1 世界水準のオールインワン MICE 拠点の形成

＜国際会議場施設  
及び展示等施設＞

- ① 世界水準の競争力を備えたオールインワン M I C E 拠点
- ② 日本最大の複合 M I C E 施設の整備
- ③ オール大阪での M I C E 推進・誘致体制の強化

### 2 魅力の創造・発信拠点の形成

＜魅力増進施設＞

- ① 大阪・関西・日本が誇る魅力を効果的な手法で発信
- ② 大阪 I R 発、大阪・関西・日本のコンテンツの発展・創造

### 3 日本観光のゲートウェイの形成

＜送客施設＞

- ① 大阪・関西・西日本をはじめ、日本各地との連携による観光客の送り出し
- ② 大阪・関西の強みを活かしたニューツーリズムの創出

### 4 利用者需要の高度化・多様化に対応した宿泊施設の整備

＜宿泊施設＞

- ① 世界水準の規模と質を有する宿泊施設 客室数：3千室以上
- ② 多様な宿泊ニーズに対応できる施設・サービスの提供

### 5 オンリーワンのエンターテインメント拠点、リゾート空間の創出

＜来訪及び滞在寄与施設＞

- ① 夢洲でしか体験できないエンターテインメントの提供
- ② 長期滞在を楽しめる都市型のリゾート空間、上質な施設サービスの提供
- ③ 大阪の新たなランドマークとなるインパクトのある空間の形成

# 大阪 I R の機能・施設⑥

## 3 日本観光のゲートウェイの形成 <送客施設>

### ① 大阪・関西・西日本をはじめ日本各地との連携による観光客の送り出し

- 大阪・夢洲の立地を活かし、世界と日本各地をつなぐハブとして、各地の様々な観光情報の提供や来訪者の要望に叶った旅行の手配などを行う機能を構築

#### 【 観光客を送り出す機能の例 】

##### ◆ショーケース機能



旅行博などのイベント



VR技術等による観光案内

##### ◆コンシェルジュ機能



コンシェルジュによる  
きめ細やかなサービス



ICTを活用した情報提供・  
チケット等の手配

##### ◆交通機能



立地特性を活かした海上交通



ラグジュアリーな観光ツアーバス

# 大阪IRのめざす姿

## 《交通情報》

- ・渋滞データ
- ・駐車場データ
- ・鉄道・バス・船データ

## 《エネルギー情報》

- ・自然エネルギー
- ・自己発電
- ・エネルギー使用量



## 《観光情報》

- ・イベント情報
- ・施設混雑状況

## 《防犯・防災情報》

- ・インフラ状況
- ・防犯カメラ
- ・人流データ

## まちへの効果

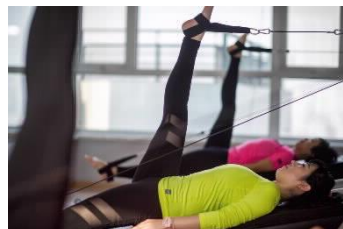
- ・都市活動の効率化・円滑化  
(交通アクセス、エネルギー利用)
- ・各施設の魅力・集客力向上  
(安全で快適な空間、  
世界中にない新たなコンテンツ)

## ひとへの効果

- ・施設利用の快適性・利便性向上  
(キーレス・キャッシュレス、  
リアルタイムの情報提供)
- ・利用者に対する付加価値の創出  
(ウェルネスツーリズム、  
最先端技術の体験)

## 懸念事項の対策

- ・24時間安全・安心なまち  
(防犯システム、災害時対応)
- ・ギャンブル等依存症対策  
(行動データを活用した学術研究)



# I R立地による効果

## ■ 観光振興・地域経済振興・公益還元

### ➤ 世界最高水準の成長型 I R の立地

期待  
効果

- ・ ビジネス客やファミリー層の来訪者の増加、訪日外国人の増加
- ・ 国際会議や大規模展示会開催の増加
- ・ 1人当たり観光消費額の増加

期待  
効果

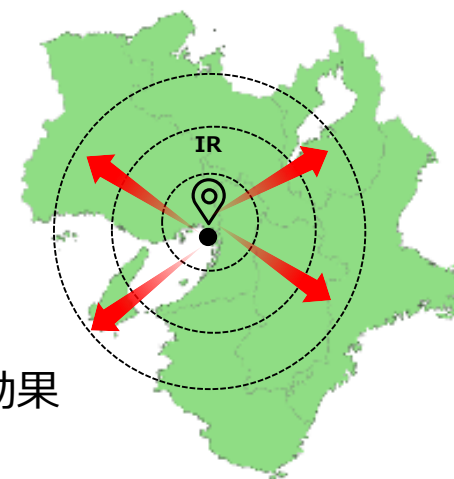
- ・ 新たな需要の増加による経済波及効果、雇用創出効果
- ・ 様々な産業への波及効果
- ・ 都市の魅力と国際競争力の向上

### ◆ 経済波及効果、雇用創出効果

- ・ 大阪 I R のめざす姿を踏まえ、初期投資や運営による効果を試算

経済波及効果（建設時）	1兆2,400億円
雇用創出効果（建設時）	7.5万人
経済波及効果（運営）	7,600億円/年
雇用創出効果（運営）	8.8万人/年

※近畿圏への  
経済波及効果



- ・ **開業初年度までに約2兆円（建設時+運営）**の経済波及効果
- ・ I R の**開業以降、毎年約 7,600億円**の経済波及効果



# IR立地による効果

## ■ 関西・西日本をはじめ、日本各地への波及効果

- ◆ 大阪府域はもとより、関西・西日本をはじめ、日本各地への集客効果の波及
- ◆ 多彩な交通アクセスの誘発等による充実した交通ネットワークの形成



(参考：想定されるアクセス)

- ・ 鉄道各線の延伸
- ・ 関西国際空港・大阪国際空港・神戸空港の機能強化と連携の拡大
- ・ 大阪湾内の高速艇や瀬戸内クルーズなど海路の整備

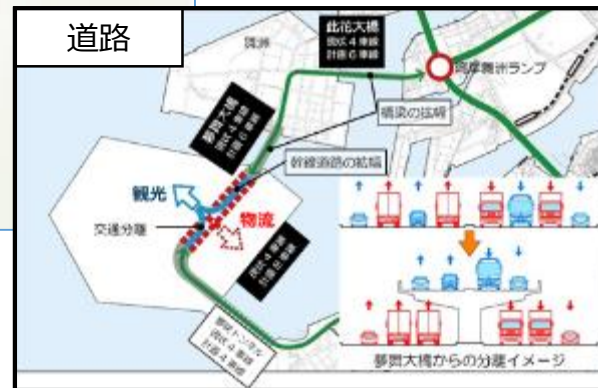
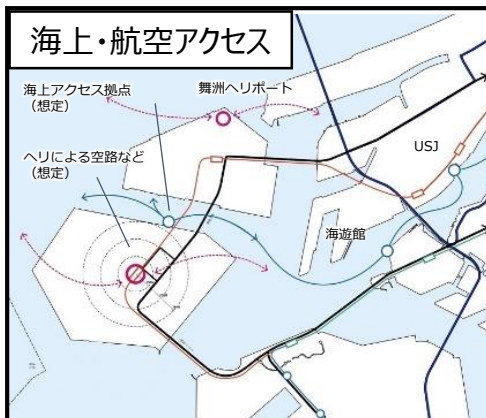
岡山・広島  
中国方面

香川・徳島  
四国方面



滋賀・金沢  
北陸方面

伊勢・  
名古屋・  
中部方面



(出典) 夢洲まちづくり構想

(出典) 大阪府・大阪市IR推進局「大阪がめざすIRIについて」より作成

世界の「食のまち」と並ぶ「食のまち・大阪」ブランド構築に向けて

## 「食の都・大阪」を取り巻く現状と課題

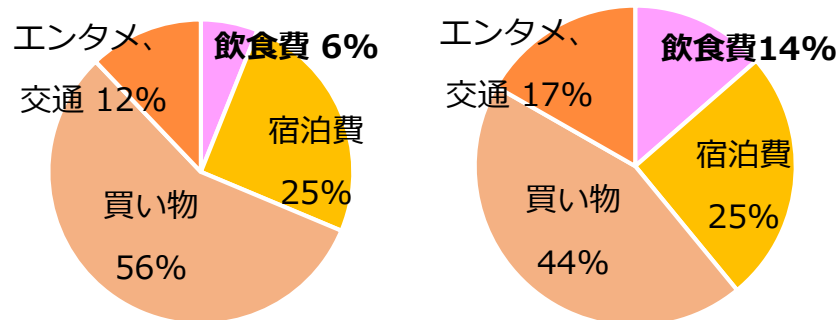
(現状)

大阪の「食」は、重要な観光資源となっているが、  
本来のポテンシャルが活かされていない

(課題)

- ① B級グルメのまちとして認知されている
- ② 食の消費額は国際比較では平均以下

## 世界の観光都市と比較した大阪の現状とポテンシャル



(大阪)

(世界の有名観光都市平均)

観光客が滞在中に消費する業種内訳を、世界の有名観光都市（東京、パリ、ニューヨーク、シンガポール、香港、サンセバスチャン）と比較

さらに飲食店の種類をレストラン、バー・居酒屋、ファストフードにカテゴリー分けしたところ、大阪は観光客によるレストランでの消費単価が他都市より低い。  
(単位：ドル Mastercard調査より)

## 事業展開の方向性

### ① 多様な食のコンテンツへの消費促進による「食のまち・大阪」の事業展開

#### <ボリュームゾーンの消費拡大>

- ・外食事業者との連携
- ・様々な食のコンテンツとの連携

### ② 付加価値の高い食コンテンツへの消費促進

#### <消費単価の向上>

- ・世界のメディアでの広報など情報発信展開
- ・食に関するMICEの誘致やイベントとの連携による発信

## 食事業の取組み (SDGs、食 x テーマ、コンテンツ創造)

### ③ 食分野のSDGsへの取組み <観光都市ブランディング>

- ・国内・海外関係団体との、食のサステナブルへの取組みや発信展開
- ・府域との連携による地産地消への取組み

### ④ 食 x テーマによる発信強化 <観光都市ブランディング>

- ・食と関連テーマ、コンテンツ、地域（文化や歴史など）との連携による発信力の強化
- ・新しいコンテンツ創造による府域滞在促進への取組み (具体的な取組例)  
和泉市、河内長野市等と連携した農泊、農体験、食文化体験など

大阪	東京	パリ	ニューヨーク	シンガポール	香港	サンセバスチャン	平均
131	202	185	284	192	224	105	189

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



## 「食のまち・OSAKA」事業推進組織 食創造都市・大阪推進機構の取組み

### 「食創造都市 大阪推進機構」の取組み

大阪観光局と大阪商工会議所では、他の団体や組織も巻き込みながら、大阪の食のブランディング向上に取り組む組織を立ち上げ、多様な食の魅力の発信や食コンテンツへの消費拡大をめざし、様々な事業に取り組む。

- ・多様性のある大阪の食の魅力創出と発信
- ・上質でクリエイティブな食に焦点をあてた取り組みの推進
- ・世界のシェフやメディアなどとの事業実施
- ・食のSDGs/食のサステイナブルの取組み
- ・食の教育機関設立の検討、など

大阪商工会議所

大阪観光局

大阪府・大阪市

外食産業協会

調理師専門学校  
など教育機関

民間事業者

## 世界における「食のまち・OSAKA」認知度向上に向けて（中長期展開）

2020

コロナ禍における外食産業事業者、商店会関係者、などと連携した外食への消費喚起事業実施継続した「食のまち・OSAKA」の発信、食コンテンツ創造（「食」の魅力作りの継続的展開）、食関連事業MICEの誘致や連携（関西ホテル・レストランショーなど）

2021

国内、海外への「食のまち・OSAKA」情報発信展開、「食」の魅力創造展開  
食のSDGsに関する事業展開  
食事業MICEの誘致 & **FOODEX JAPAN** in 関西 2021

2022以降

本格的なインバウンド需要回復のためのプロモーション事業  
食の教育機関についての検討

2025

大阪万博2025（開催）

食博覧会・大阪2025（開催）



2026以降

IR施設開業（予定）





2019年10月

世界のトップシェフを招聘した「食のまち・大阪ブランディング事業」





## 世界のトップシェフの味を楽しむガラ・ナイトについて 大阪産食材の地産地消推進とSDGs展開



# 「OSAKA」ブランディング構築のための事業展開：スポーツ

## スポーツツーリズムへの取組み

【目的】2019年～2021年までのゴールデンスポーツイヤーズ、2025年の大阪・関西万博及びIR開業を見据え、「観る」「する」スポーツの受け入れ環境整備を行うとともに、スポーツMICEの誘致、スポーツツーリズムの活性化を目指した事業展開を行うことで、「大阪・関西」エリア＝スポーツ都市としてのブランディング強化を図り、大阪・関西のスポーツ関連産業への経済効果を最大化する。

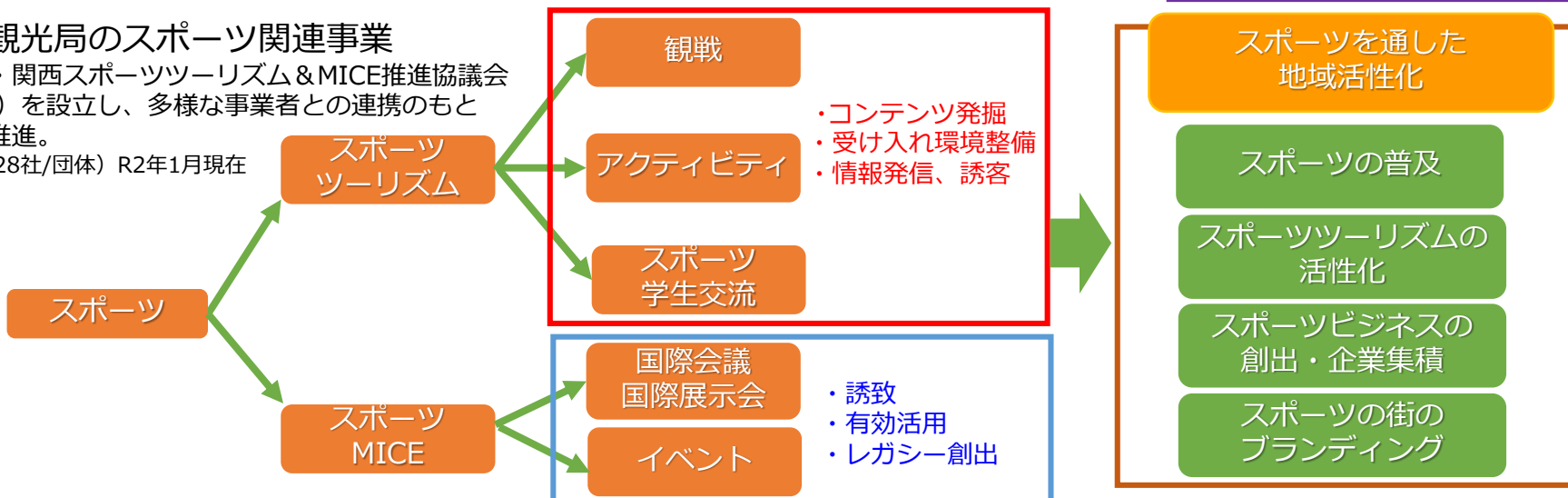
### ◆大阪・関西の恵まれたスポーツ環境



### ◆大阪観光局のスポーツ関連事業

※大阪・関西スポーツツーリズム&MICE推進協議会 (SECOK) を設立し、多様な事業者との連携のもと事業を推進。

(加盟数：28社/団体) R2年1月現在





# 「OSAKA」ブランディング構築のための事業展開：スポーツ

## ロードマップ

2019年

2020年

2021年

2022年

2023年

2024年

2025年～



桜スタジアム



国際会議、学会、展示会、イベント、  
競技大会開催

大阪・関西万博開催、  
IR開業予定

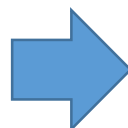


(仮称) 吹田アリーナ

国際会議、学会、展示会、イベント、競技大会の誘致活動

### ①「観る」スポーツ機会の創出

- ・プロスポーツ競技日程を大阪観光局から発信  
(プロスポーツ：プロ野球、Jリーグ、Vリーグ、トップリーグ、Tリーグ、大相撲)
- ・観光案内所での試合観戦広報
- ・スポーツ観戦ガイドブックの制作、配布



2020年度より、各プロチームと連携した  
ポスター、パネルを制作する

公式ウェブサイトを活用し、プロスポーツ競技日程、  
スポーツ関連イベントを掲出し、閲覧者に告知している



試合日に観光案内所スタッフがプロチーム  
ユニフォームを着用し、試合の観戦を促す



### 大阪のスポーツ

多くのスポーツチームのホームタウン、大阪、トップアスリートの一躍の試合が楽しめるほか、平坦な大阪市内はジョギングやサイクリングにもピッタリ！

月	日	予定リスト
2019年08月25 - 31日		
水曜日		2019年08月28日
		● オリックス・バファローズ VS 福岡ソフトバンクホークス 2019/08/28
土曜日		2019年08月31日
		● ガンバ大阪 VS 横浜F・マリノス 2019/08/31

### ガイドブックの制作・配布



## ②「する」スポーツの活性化

・大阪マラソン2019 **2020年は第10回大会**（11月29日開催）

開催日：2019年12月1日

コース：大阪市内新コース

参加ランナー：32,989名（うち、外国人約5,007名）



・第23回大阪・淀川市民マラソン



大阪・淀川市民マラソン  
OSAKA YODO-RIVER CITIZENS MARATHON

開催日：2019年11月3日

コース：淀川河川公園

参加ランナー：10,750名（うち、外国人107名）



・KILORUN OSAKA 2019（日本初開催 2020年継続開催決定）

「走る・食べる・観光する」を一度に楽しめるタイ発のグルメマラソンイベントを誘致。  
距離（KM）だけでなく、体重（KG）で記録を測定するファンラン。

2019年は大阪以外にハノイ、バンコク、チェンライで開催。

会場：大阪城公園（メイン会場・太陽の広場）

参加人数：1,000名（KM 680名/KG 320名）

うち外国人：210名（タイ人150名など）

※KM（キロメートル）…Lラン（約10KM）とMラン（約5KM）から距離を選択。

KG（キログラム）…約3KMのコースに用意されている選りすぐりの大阪グルメ

7品とタイグルメ1品を味わい、体重を増やしてゴールをする。



## ③観光コンテンツを活かしたスポーツ体験機会の提供

大阪観光局運営 体験型予約サイト

「Deep Experience Osaka」を活用したアクティビティ紹介



相撲体験実績（2019年5月～12月20日時点）

：10件（アメリカ3件、イギリス1件、ベルギー1件、カナダ1件、香港3件、タイ1件）

※タイは大型団体57名

## ④スポーツ観戦に訪れた観光客へのガイドマップ配布

「50 THINGS TO DO IN OSAKA」

内容：バー、パブを中心に掲載したガイドマップ⇒観戦後の飲食店誘導  
ターゲット：外国人

制作部数（言語）：5万部（英語のみ）

配布期間：2019年9月20日～

配布場所：大阪観光案内所（梅田、難波、新大阪）、ファンゾーン、海外市内ラグジュアリーホテル

\* 首都圏にて制作部数のうち1万部を配布（羽田空港、成田空港等）





# 「OSAKA」ブランディング構築のための事業展開：スポーツ

## ① Convention (国際会議)

### 世界野球ソフトボール連盟 (WBSC) 第3回総会 ※アジア初開催

日時：2019年11月20日(水)～21日(木)  
 場所：ホテル・アゴラ リージェンシー大阪堺  
 参加国数、参加人数：97の国と地域・330名  
 主催：世界野球ソフトボール連盟(WBSC)

内容：連盟総会(議題：東京2020オリンピックに向けた野球・ソフトボール競技運営、野球・ソフトボールの振興・発展に向けた取り組みなど)  
 備考：WBSCは国際野球連盟(IBAF)と国際ソフトボール連盟(ISF)が統合され、135の国と地域が加盟する野球・ソフトボールの国際組織であり、WBSCプレミア12などの国際大会開催をはじめ、野球・ソフトボールの普及・振興活動を実施している。なお、総会は2年に1度開催される。



### <今後検討対象の国際会議>



開催年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
開催都市	ゴールドコースト (豪州)	北京 (中国)	エカテリンブルグ (ロシア)	未定	未定	未定	未定

\* SPORT ACCORDは、1,000の機関から1,500人を超える意思決定権者が参加する。  
 SPORT ACCORD主催者GAISF (国際スポーツ連盟機構) に加盟する100を超えるスポーツ競技国際連盟総会 (例：WBSCなど) の誘致を図る。



開催年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
Velo-city 開催都市	ダブリン (アイルランド)	—	リスボン (ポルトガル)	—	EU圏内開催	—	EU圏内開催
Velo-city Global 開催都市	2022年開催都市 入札終了、発表前	リュブリャナ (スロベニア)	2024年開催都市 入札	非EU圏開催	—	非EU圏開催	—

\* 1980年開催依頼、継続的に開催されてきた自転車まちづくり国際会議。Velo-cityはEU圏内開催であるが、Velo-city Globalは非EU圏の開催であり、何れも隔年開催。2016年は台北、2018年はリオ・デジネイロでVelo-city Globalが開催され、台北では、43か国1,000名の会議参加、5,000名の自転車パレードが実施された。

## ② Exhibition (展示会)

### SPORTEC WEST 2019

内容：西日本最大級のスポーツ・健康産業総合展  
 会期：2019年11月20日(水)～22日(金)  
 会場：インテックス大阪  
 出展社：270社  
 来場者数：17,257名 **2020年の大阪開催決定** (10月14日～16日)



(参考)

### ISPO ACADEMY

(2018年に引き続き2年連続開催)  
 日時：2019年11月5日(火) ファムトリップ  
 11月6日(水) ISPO×スポーツハブKANSAI 連携シンポジウム  
 訪問先：大阪府内スポーツ関連企業 (ミズノ、東洋フレーム E-BIKEツアー、  
 パナソニックサイクルテック、モンベル)  
 内容：ISPO本部や欧州、中国のスポーツ関連企業役員対象ファムトリップ、シンポジウム



### <今後検討対象の国際規模展示会>



開催年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
開催都市	ミュンヘン 上海 北京	ミュンヘン 上海 北京	ミュンヘン 上海 北京	ミュンヘン 上海 北京	ミュンヘン 上海 北京	ミュンヘン 上海 北京	ミュンヘン 上海 北京

\* ミュンヘンは展示面積20万㎡、訪問者数8万人。大阪は新規IR展示施設が開場する時期に開催を働きかける。

## 2. Afterコロナを見据えたスポーツアクティビティの造成

### (1) E-BIKEサイクリングツアー（柏原市、羽曳野市）

- ・事業名：「ワイン・梅酒街道」を巡るE-BIKEサイクリングツアー  
（観光庁「誘客多角化等のための魅力的な滞在型コンテンツ造成」実証事業 採択）
- ・実施主体：公益財団法人大阪観光局
- ・連携する地方公共団体：柏原市
- ・連携企業、団体：チョーヤ梅酒(株)、カタシモワインフード(株)、(株)河内ワイン、飛鳥ワイン(株)、大阪ワイナリー協会、全日本空輸(株)、ANAセールス(株)、近鉄グループホールディングス(株)、(株)阪急交通社、(株)JTBグローバルマーケティング&トラベル、東洋フレーム(株)、大蔵印刷工業(株)、(株)Cyujo、羽曳野市観光協会、羽曳野商工会
- ・取り組みの新規性、独自性：サイクリング×食（ぶどう、ワイン、梅酒）、サイクリング×文化（ぶどう栽培、発酵食品）、サイクリング×歴史（ぶどう栽培、世界遺産、日本遺産など）、サイクリング×ものづくり（自転車製造）、サイクリング×体験（梅酒、壱輪製作、ぶどう苗木植樹）、サイクリング×インフラツーリズム（亀の瀬地すべり資料館）
- ・実施スケジュール：2020年12月 サイクリングツアーガイド養成、  
2021年1月～2月 旅行業界商品造成者向けモニターツアー催行、Webサイト制作、イラストマップデータ制作



#### <事業実施効果>

- ・テーマ性、ストーリー性が加味された高付加価値滞在型商品の造成
- ・Withコロナ期だけでなく、Afterコロナ期も見据えたコンテンツの誕生
- ・新たな交流人口、新規雇用創出
- ・地域経済活性化

#### <次年度以降の取り組み>

- ・自走型運営体制によるサイクリングツアー催行、及びレンタサイクル拠点の確立
- ・タクシーなど、他の二次交通との連携
- ・農泊、古民家民泊を活用した宿泊施設の整備
- ・隣接市町との広域連携



3 すべての人に健康と福祉を

自転車は、利用者に健康的な生活を提供します。



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

二酸化炭素排出量の削減に貢献する。クリーンエネルギーを活用する。（例：E-BIKE）



8 働きがいも経済成長も

欧州では、自転車関連産業の経済波及効果が高く、雇用を創出することが証明されている。



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

大阪は世界的パーツメーカーなど、技術力とイノベーション力のある自転車関連産業が集結している。



11 住み続けられるまちづくりを

自転車専用道路などのグリーン・インフラの整備は、新たな都市イメージを創出することができ、サイクルツーリズムにより、地域経済活性化を図ることができる。



13 気候変動に具体的な対策を

二酸化炭素排出量の削減に貢献する。

## (2) トレッキング (枚方市、交野市、四條畷市、大東市、東大阪市、八尾市、柏原市、羽曳野市、太子町、河南町、千早赤阪村、河内長野市、和泉市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、岬町)



生駒トレール



葛城山



岩湧山



金剛山



くろんど輪舞曲

## (3) トレイルランニング (交野市)

「大阪 夏の陣 くろんど輪舞曲 (ロンド) 180K~Over the Limit~」

- ・主催：(株)ソトアソ、T-TRAVEL
- ・開催期間：2020年8月8日21時~8月10日12時
- ・開催場所：大阪府・交野市 くろんど園地 トレイル1周8.6km周回コース
- ・距離：180km、120km、60kmの3 カテゴリー
- ・参加者：合計176名

次年度継続開催決定

<長期目標>

交野市~生駒山地~ダイヤモンドトレール~和泉山脈~岬町までの約170kmに及ぶロングトレイルコースを、事業者や大阪府及び関係市町村と共同で「大阪トレイル(仮称)」としてブランディングし、世界に売り込むだけでなく、事業者主催の国際大会開催を支援する。

## (4) 関西広域連携サイクルルート、ロングトレイルルート

主要サイクルルート	距離	連携自治体	主要ロングトレイルルート	全長	連携自治体
泉州サイクルルート	195km	大阪府	ダイヤモンドトレイル	45km	大阪府、奈良県、和歌山県
ビワイチ (琵琶湖一周)	193km	滋賀県	高島トレイル	80km	滋賀県、京都府、福井県
アワイチ (淡路島一周)	150km	兵庫県	比良比叡トレイル	52km	滋賀県
WAKAYAMA800	800km	和歌山県	大江山連峰トレイル	84km	京都府
WMG関西自走ルート(神戸~倉吉)	249km	兵庫県、鳥取県	山陰海岸ジオパークトレイル	231km	京都府、兵庫県、鳥取県
京奈和自転車道	180km	京都府、奈良県、和歌山県	六甲全山縦走	56km	神戸市
山陰海岸ジオパークルート	204km	京都府、兵庫県、鳥取県	京都一周トレイル	一周84km 京北50km	京都市
四国一周サイクリングルート	1,000km	徳島県等			



➤ 2025年万博・IR開業に向け、コンテンツ拡大・ターゲットの拡大

『みどり × 富裕層 × ウェルネス (健康・美容)  
× 食 × スポーツ』

2021年 追加・拡大

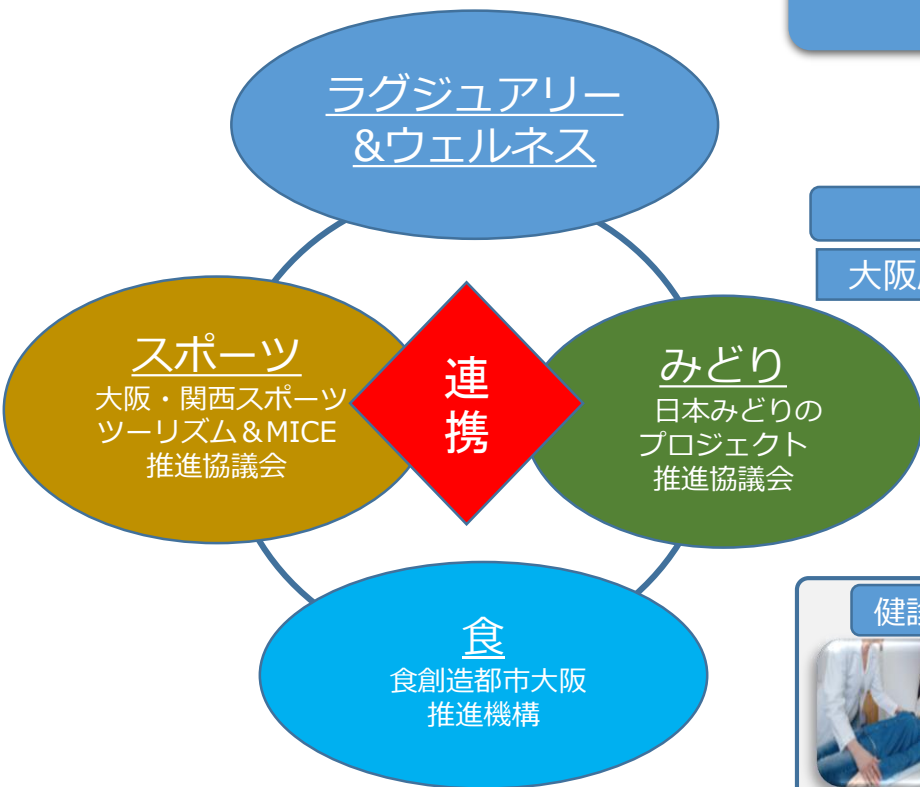
「ウェルネス」を **広域連携** と **環境体験コンテンツ** と連動

大阪府内コンテンツ

関西コンテンツ

広域コンテンツ

- ① 特別体験主体のコンテンツ
- ② インバウンド・日本人向けコンテンツ
- ③ 各県の特別感、上質感
- ④ 鉄道・航空を伴うコンテンツ
- ⑤ 自然・スポーツを体験できるコンテンツ
- ⑥ アンチエイジング・美容体験を追加



カスタマイズ手配に加え  
地域との特別コース設定

2021年以降計画

大阪府内の体験  
(特別体験)



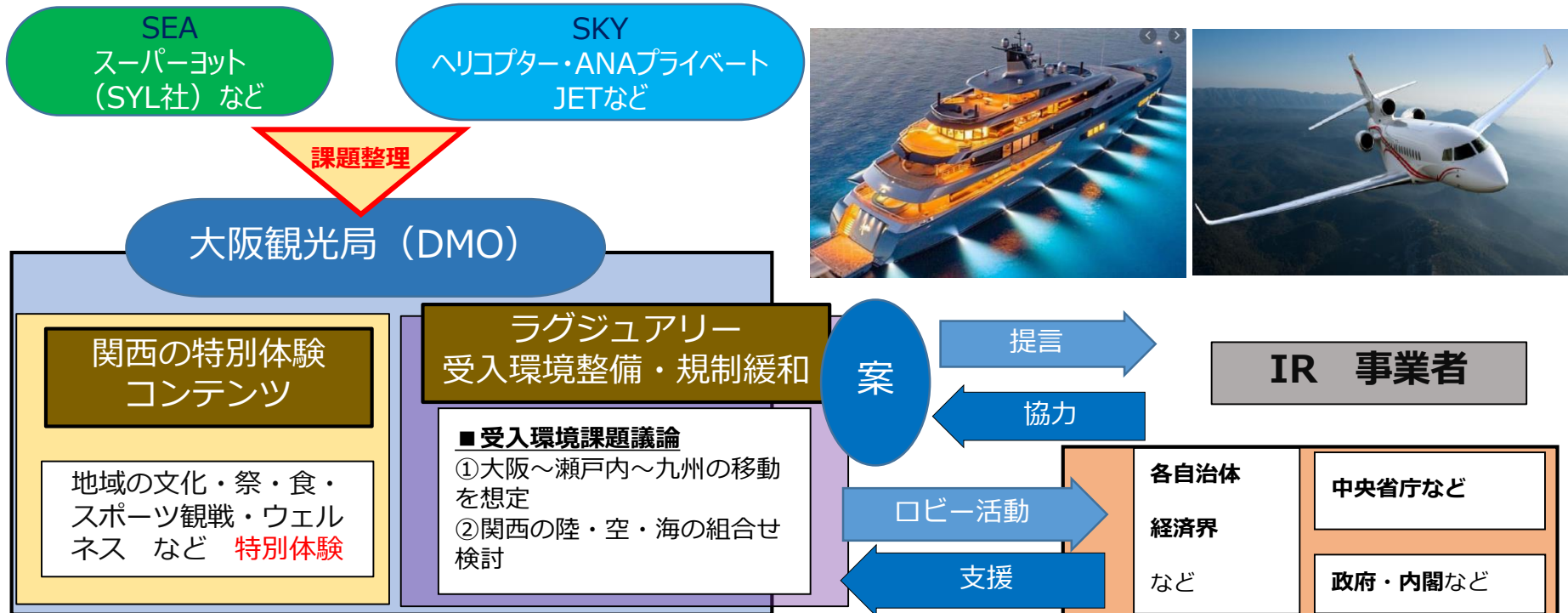
関西・中部・  
北陸・瀬戸内・  
四国・北海道・  
九州・沖縄など  
順次

- 2021年は大阪府内コンテンツ開拓に加え関西、長野・高知連携
- 大阪府内(市町村)の富裕層コンテンツの開拓  
(高槻市、枚方市、交野市、池田市、東大阪市、能勢町など)
- 2022年以降は広域との連携を計画的に実施  
(中部・北陸・瀬戸内・四国・北海道・九州・沖縄など)



## 大阪・関西万博、IR開業を見据えた経済波及効果拡大を図るため、富裕層の受入環境整備が必要

- ① **スーパーヨットの誘致（外国籍大型個人クルーザー）**
  - 係留マリーナ整備・増設 <商用でない観光目的外国籍船舶>
  - 乗員滞在ビザ（クルービザ）の28日を超える滞在ビザ要件の緩和
  - 効果：スーパーヨットの場合：1か月日本クルーズで消費額 1,500～2,500万円  
※その他、メンテナンス費用、停泊・係留費など
- ② **空港機能の強化（関西空港・神戸空港）**
  - 中型・大型機材チャーターに対応した出入国整備（神戸空港は小型プライベートジェット含む）
- ③ **ヘリポートの発着地の拡大**
  - ヘリポート（チャーター用）の発着力所増設・申請の簡素化 空港以外の関西でのヘリポート活用、低空域活用の整理（ドローン・空飛ぶタクシーなど）
- ④ **地域一帯で問題解決**に繋がる **コンソーシアムの形成**（関西圏・瀬戸内圏など広域）



## 1. 2020年度 活動報告と現状 大阪・日本は大健闘！

### ① 再始動の機運醸成（他より早く、力強く）

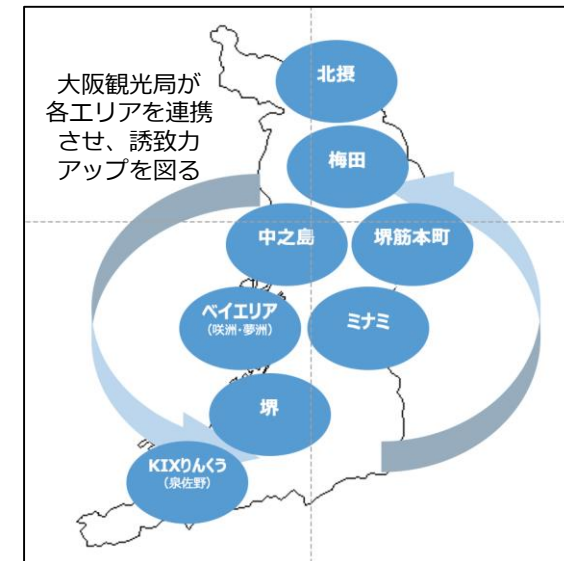
- 日本初「MICE開催ガイドライン」を発表（右図）、「MICE開催歓迎」を発信。
- 6/18、大阪市がインテックスの使用料半額を発表。さらに大阪観光局は主催者を全面的に支援し、緊急事態宣言後初の展示会を7/29に大阪で開催（460社出展、13,933名来場）、WITHコロナの新しいMICE運営方法を確立。
- その結果、MICE関係者の間に「MICEを歓迎する大阪」のブランドイメージ構築に成功。中止や延期を迷っていた主催者が続々と開催を決定。
- 大阪が名古屋、横浜、東京など他都市を刺激し、展示会を中心に再始動。MICE先進国の欧米、シンガポール等で殆ど開催されない中、日本は大健闘。



関西ホテル・レストラン・ショーなど7展  
(7/29～31、インテックス大阪)

## ② コロナ後を見据えた「種まき」（営業と受入体制の強化）

- 主要な展示会主催者50社、PCOを訪問し関係構築、大阪開催を営業。2021年のFOODEX関西、ツーリズムEXPOジャパン、2022年の**全国私立保育研究大会**などが開催決定。
- **MICEエリア**（旧称：MICEクラスター）を再構築（右図）。各エリアに大阪観光局の担当者をアサインし、組織化や勉強会を実施。
- **SNSも開設し、情報発信強化**。コロナ後4,631PV/月にまで減少したWebアクセスは、**現在1.5万PVまで回復**（コロナ前平均3万超PV）。



## 2. 大阪観光局の活動方針

**2021年は2019年の50%以上※に回復、2022年には100%に！**

- 人・モノ・情報を一堂に集め、商売・イノベーションを生み出し、大阪に巨大な経済効果をもたらすという**MICEの普遍的価値を守るため、MICE開催の機運醸成に引き続き全力を尽くす。**
- 最新技術をツールとして積極的に活用し、コロナ禍で明らかになった課題の解決と、いっそう魅力的・感動的な滞在提供に力を入れ、**主催者に選ばれる「高付加価値MICE都市」を目指す。**
- 万博・IR誘致という千載一遇のチャンスを生かし、**「日本No.1のMICE都市」へと飛躍する。**

※ CとEの開催本数の比較

## ① 引き続き、機運醸成に全力（象徴的MICEの開催を支援）

A) MICE産業を盛り上げる決起大会「**大阪MICE安全対策推進EXPO**」を開催支援

- 会期：3/24～25、会場：インテックス大阪
- 経産省、観光庁、JNTOなどにも参画を要請し、「日本のMICE決起集会」とする。
- 大阪MICE推進委員会も協力団体に参画。

B) FOODEX Japan in 関西(7月)、ツーリズムEXPOジャパン（11月）など象徴的MICEを支援して成功に導き、MICE業界の活性化とMICE開催の機運を高め、2022年につなげる。



## ② 主催者に選ばれるための環境整備

- A) **世界最高クラスの「安心・安全・清潔とSDGs対応 MICE」**を目指す施策立案（認証制度の検討）
- B) **MICE会場の機能強化案**の策定（既存またはIRに新設される会場で、戦略的に実現）
  - 感染症対策を施した設備やサービス、密を回避した ゆとりある会場
  - 最速・無料・無制限の通信環境、オンライン中継設備が設置された会議室の整備
  - 常設の保税展示場（例：AICHI SKY EXPO）の拡充
- C) ユニーク・ベニューの開発強化と、アフターMICEプログラム提供の強化

## ③ 徹底した営業・PRと体制構築

- A) リアル開催の価値を実感しやすいExhibitionやEventの誘致に力を入れる。
- B) 大阪の都市ブランドを高めるMICEを積極的に誘致。
  - 大阪が力を入れる分野（食、スポーツ、健康、ものづくり、みどり、留学生、LGBT等）
  - 政府系ハイレベル国際会議や、国内、アジア、中東を中心とした高級インセンティブツアー
  - IRを見据えた、世界水準のエンターテイメント・ショー

## ④ IR事業者決定を見据えた、誘致体制強化策の推進

- A) 医学・工学系に加え、スポーツ、LGBT系も誘致担当を設置。今後も分野を拡大し強力な誘致組織へ。  
**IR事業者が決定後、速やかに連携協議開始。**さらに、大阪府下の会場、PCO、ホテル等で構成される誘致連携組織を立上げ、ALL OSAKAの誘致体制の構築を目指す。
- B) **誘致力は展示面積に比例。**さらにコロナ禍により、**ゆとりある大規模施設の重要性**が高まっており、IRのMICE会場は2019年策定の構想実現を目指す（次頁の3）。
- C) インテックスでは1～2万㎡の中規模MICEが多数開催されており、参加者層の観点からも、IR会場での開催を望まないものも想定される。従ってインテックスの機能強化・財政プランの具体化を進める。
- D) IRにより大阪の展示面積はインテックスと合わせ17万㎡になれば、**東京を超え、名実ともに「日本No.1のMICE都市」**に。北京、ソウル、香港、台湾、シンガポール等と互角の競争が可能（次頁の4）。





## 「アジアNo.1の留学生都市」を目標に掲げ、

### 4部門（誘致・支援・活用・就労）計16のアクションプラン【案】を策定

2021.2.18のコンソーシアム総会を経て、活動開始予定

#### アクションプランの例

##### ① 誘致部門：

###### タイ、ベトナムでの合同留学説明会 KPI：参加者数 ⇒ 800名

- 各大学、専門学校の現地拠点やネットワークを共同活用し、集客を強化
- 留学生を送り出す「親の視点」も取入れ、大阪の住環境の魅力を観光局がアピール。有名企業によるインターン、就労機会のプレゼンも行うなど、ALL大阪の合同留学説明会を実施。

##### ② 支援部門：

###### 「おおさか住まい・携帯電話」プロジェクト

- 「住宅を借りるのに保証人が必要」「携帯がすぐに使えない」など、留学生が来日後すぐに出会う課題を解決し、ストレスフリーな留学スタートを実現。

###### 留学生関連イベント KPI：総イベントの参加者数 ⇒ 2,000名

- 8月に「留学生EXPO」を開催、さらに「国際学生の日」である11/17の付近に国際紅白歌合戦など複数の留学生関連イベントを大阪で開催し、歓迎ムードを醸成。

##### ③ 活用部門：

###### 留学生「大阪B&S」 KPI：留学生の参加者数 ⇒ 200名（次頁参照）

##### ④ 就労部門：

###### 「社会進出・就職支援」サポート／留学生「起業家支援」プラン



3つの観点からLGBTQツーリズムを重要施策と位置づけている

## ① 多様性

大阪観光局の掲げる3つのコンセプト（24時間、観光のハブ、**多様性**）の1つでもあり、大阪・関西万博の主旨にも合致

## ② 観光消費額

- ・ **全体ボリュームが大きい** （LGBTQツーリストによる観光消費額は世界で約23兆円）
- ・ **消費単価が高い** （LGBTQツーリストは全体の10%、消費額は16%）

※LGBTQは人口の1～9%といわれている。

## ③ 欧米豪対策

- ・ LGBTQは相互信頼が厚く、情報共有の密度が高いネットワークを形成しているため、情報訴求の**波及効果が高い**。

かつ、大阪のポテンシャルにも合致する！

ゲイバーの集積地

文化・芸術周遊のハブ



大阪人のフレンドリーな気質

おしゃれなホテル群

## 推進ロードマップ

### 大阪の都市格向上

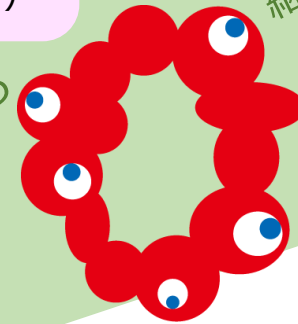
SDGs施策へのメディアの注目  
(観光メディア、LGBTメディア、  
経済メディア、一般メディア)

周辺業界への**経済効果**

観光業界全体への**経済効果**

万博をさらに盛り上げる

万博後も  
継続的な人気



大阪の高い受入環境・豊富なコンテンツを継続的に世界に発信

LGBTQツーリスト向け旅行商品の開発

受け入れ環境整備

大阪=LGBTフレンドリーの  
イメージが世界に確立され、  
人気No.1デスティネーション  
になる

LGBTQツーリズム  
大阪会議開催

LGBTQツーリズム  
国際サミットを  
大阪で開催

2021年

2022年

2023年

2024年

2025年

2026年～

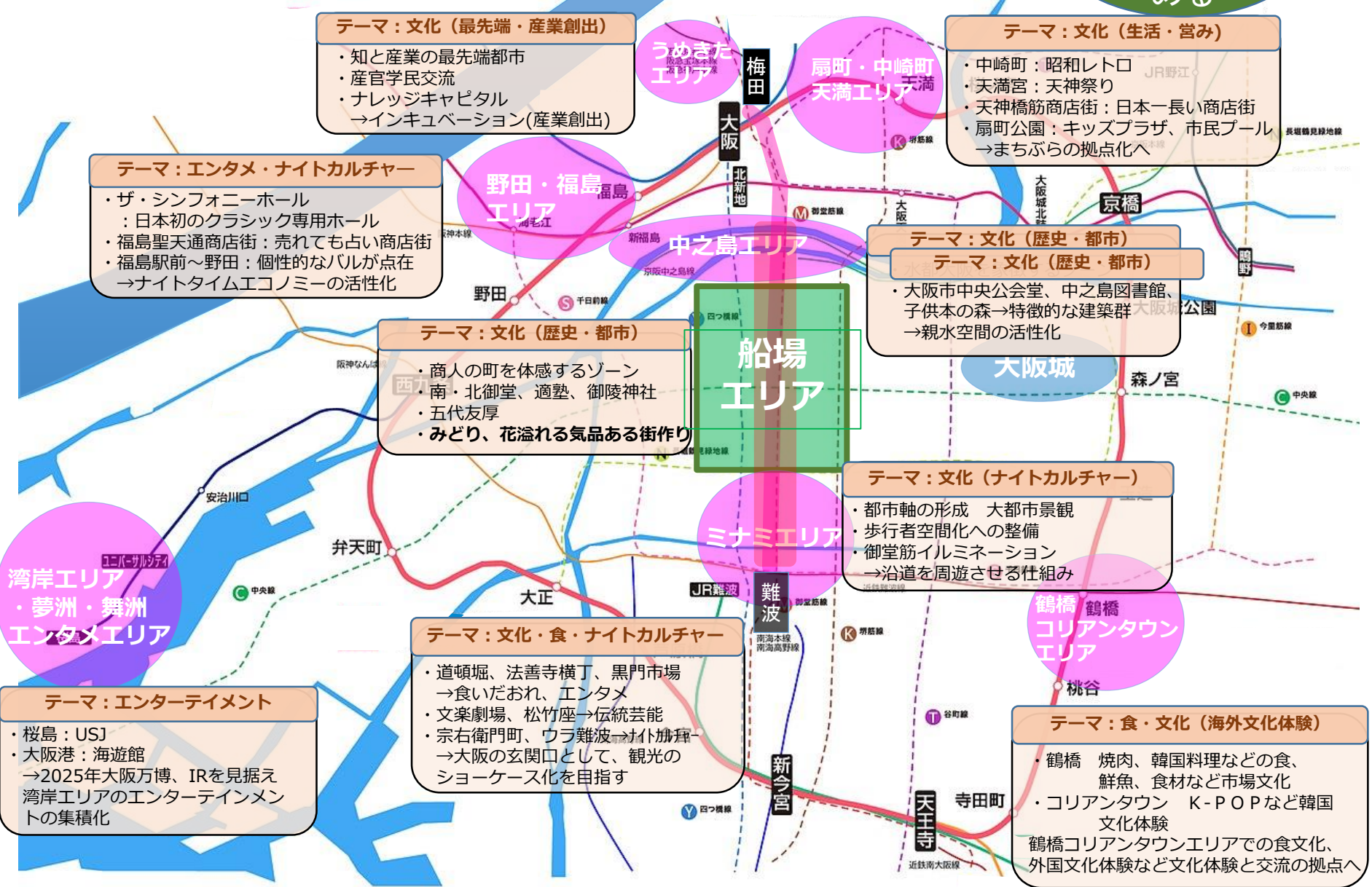


# 大阪市域ブランド構築に向けたゾーニング戦略への取組み



花みどり  
整備を進める

IR、万博を迎えるにあたり、交通便利性に優れ、核となる施設が存在する地域をゾーニングして、個性豊かなテーマで一定時間周遊滞在が図れるよう、魅力創出とブランディングを図る





## ◆観光チャットボットの運営

2020年4月より、多様化する観光客のニーズに対応するため、観光案内所・大阪コールセンターに続く観光案内機能として、観光局HPに**観光チャットボット機能**を追加することで観光に関する問合せチャネルの充実化を図った。

「Go To トラベル」や「Go To Eat」などの各種施策にも対応することで、10月のアクセス者数は9,000件を超えた。今後もコールセンターとの連携によるAIの精度向上と、非接触での観光案内を好む観光客や府民の利便性向上を図る。

## ◆大阪を基点とした観光の促進と自主財源の確保

Withコロナ時代のアウトドアコンテンツや大阪府内周遊に加えて、マイクロツーリズムなど大阪を基点とした観光周遊を促進する。

案内所における他府県や府内観光施設のPRを一部有料化することにより、自主財源の確保を図る。

- ・ JNTOカテゴリー3の観光案内所として全国の観光案内が求められており、案内所内の一部スペースを活用した他府県情報を有料配架
- ・ 案内所内サイネージの一部を活用した府内観光施設PRの有料化



## ◆緊急事態宣言等を踏まえた運営体制の見直し

インバウンドの減少に伴い、観光案内所の運営時間・要員数を変更。

今後もインバウンドの回復など、案内所来所者数に応じて柔軟な対応を実施する。

案内所	通常運営時間	～6/14	6月15日～7月31日	8月1日～現在
大阪観光案内所	7:00～23:00	4/16～短縮 (10:00～18:00)	10:00～18:00	9:00～20:00
難波観光案内所	9:00～20:00	4/9～臨時休業		
新大阪観光案内所	8:00～22:00	4/11～臨時休業		

# ■ 本日の項目

## これからの付加価値観光素材

地域との連携

自然を織り込んだグリーンツーリズム

# 大阪をハブとするテーマ型回遊ルート構築（広域連携）

▶ 国際観光都市大阪 日本・アジアのゲートウェイとして大阪が「ショーケース」となる！

## 課題

- ★コロナ禍で新たな観光素材開発（日本の自然を最大限活用）
  - ・万博開催・IR開業（予定）⇒ 富裕層・欧米長期滞在対応
  - ・インバウンド6,000万人時代に備え
  - ・訪日客ニーズの多様化・高度化・深化



## 目指すべき姿

- ★大阪と、魅力あるコンテンツを持つ地域が連携
- ★世界を魅了する上質な回遊観光ルートを開発
- ★大阪がショーケースとなり、世界に向けて情報発信
- ★事務局機能に關与した情報マネジメント

（例：忍者協議会・恋人の聖地・国立公園・日本みどりのプロジェクトなど）

⇒ 国際観光都市 大阪の競争力強化

⇒ ゲートウェイ 都市機能強化

大阪からテーマで  
各地を結ぶ

### 【回遊ルート想定テーマ(案)】

- ① **ウェルネスロード**  
⇒温泉、ヘルシー、癒し、美容、食
- ② **アドベンチャーロード**  
⇒トレッキング、サイクリング、SKI、秘境・秘湯体験
- ③ **忍者・SAMURAIロード**  
⇒伝統工芸・伝統文化体験、武道、茶道、庭園、城郭

### 連携提携実績

- 2019年2月 加賀市（石川県）
- 11月 長野県・長野県観光機構
- 2020年10月 高知県・高知県観光コンベンション協会
- 2021年度以降進捗  
東京・北陸・中部・瀬戸内・四国  
関東など

### 継続フェーズ

大阪ゲートウェイルートを「JAPAN EXPERIENCEルート」として開発。

テーマで結ぶ  
大阪から各地へ

世界から大阪へ！





# 大阪をハブとする広域周遊ルート（テーマ具体例）

▶ 国際観光都市大阪 日本・アジアのゲートウェイとして大阪が「ショーケース」となる！

テーマ	ウェルネス・健康	食	スポーツ・アドベンチャー	美術館・博物館	忍者・サムライ	城郭・天守閣
詳細	健康・高原の空気 温泉・ヨガ・森林セラピーなど	食文化・各地の食材・食技術など	サイクリング・トレッキング・ハイキング スキー・ラフティング・グランピング キャンプなど	絵画・陶磁器・現代アート 漆器など	忍者、サムライ所縁の地・体験	世界遺産、文化財、甲冑 城下町、山城
<b>大阪 関西</b>	大阪府：高級エステ、SPA 和歌山県：熊野古道 奈良県：吉野エリア	主に大阪府域各箇所との連携 堺：刃物伝統工芸、お茶文化 泉州：伝統野菜、果物、ブランド牛などのブランド食材 北摂：ブランド牛、ジビエ料理など 大阪市内 多様な料理を楽しむ	和歌山県：熊野古道 大阪府：サイクリング 滋賀県：サイクリング 兵庫県：サイクリング	大阪府：現代アート、東洋陶磁 関西各地の美術、博物館	滋賀県：甲賀 三重県：伊賀、名張	大阪府：大阪城、岸和田城 和歌山県：和歌山城 兵庫県：姫路城（世界遺産） 竹田城 滋賀県：彦根城（国宝）
<b>北海道ルート</b>		北前船 昆布：北前船の回遊ルートで関西の食文化と強い結び付き	各スキー場・釧路湿原 道内サイクリング			五稜郭・松前城
<b>北陸・中越 ルート</b>	加賀市：加賀温泉郷 長野県（山之内・飯山など）	北前船 昆布 各地の食材 北前船の回遊ルートで関西の食文化と強い結び付き	石川県・長野県：ハイキング 長野県：サイクリング	石川県：近代美術、九谷焼 長野県：現代美術、北斎館	長野県：戸隠、上田	長野県：松本城（国宝） 福井県：丸岡城（国宝） 越前大野城
<b>瀬戸内ルート</b>	愛媛県：道後温泉	大阪～泉州～和歌山～淡路島 鮮魚、野菜などの食材宝庫や 食材（鮮魚）を状態良く保存する食技術（活締めなど）	愛媛県：サイクリング （しまなみ海道）	瀬戸内国際芸術祭	村上水軍	岡山県：備前松山城（重文） 島根県：松江城（国宝） 愛媛県：松山城（重文） 香川県：丸亀城（重文）
<b>九州ルート</b>	大分県：別府、湯布院 黒川温泉 鹿児島：指宿温泉	鹿児島 枕崎 かつおぶし、だし文化 各地の有名な食材 北前船の回遊ルート	宮崎県：ゴルフ	福岡県：九州国立博物館 大分県：OPAM美術館	古事記・日本書紀エリア	



# 「日本みどりのプロジェクト」

## ① 日本国民の自然（みどり・花）への意識醸成

自然を愛し、自然のことを深く理解し、活用して守っていくという意識を日本国民一億三千万人の間で育み共有する

## ② 自然（みどり・花）の事業創出

自然に関わる産業は多岐にわたるため、様々な連携を促進してより多くの事業（Green Business）を創出する

## ③ 世界に向けた自然（みどり・花）の情報発信

自然豊かな日本の貢献として、大阪・関西万博や花博の場での「日本の自然のショーケース」において、自然の保護と利活用の精神を世界に発信していく



## ■日本みどりのプロジェクト 設立記念写真



### ■日本みどりのプロジェクト推進協議会

会長  
副会長

長野県 阿部知事  
高知県 濱田知事  
三重県 鈴木知事  
鳥取県 平井知事  
熊本県 蒲島知事  
大阪観光局 溝畑理事長

基調講演  
アンバサダー

小泉環境大臣  
市川海老蔵

(VTR参加 渡辺 謙)



■ 基調講演 環境大臣 小泉進次郎氏



■ 日本みどりのプロジェクト推進協議会 設立総会



■ アンバサダーVTRメッセージ 渡辺謙氏



■ 市川海老蔵氏 トークセッション





**目的**

日本の**自然（みどり）**を核に**都市と地方が連携し、国内外への発信をおこなうことで国民的活動**とする。

- ①交流人口の拡大を図ることにより経済の好循環を創出し、地方創生を実現
- ②SDGsに向けた取組みを通じ、ゼロカーボン・脱炭素社会に貢献
- ③多様な主体との連携により生物多様性を保全

**組織理念**

■ **2025年大阪・関西万博**も見据え、自治体、大学、観光団体、民間企業、事業所が官民一体となって、自然（みどり）による観光振興、文化振興、地域経済の活性化を図る、**持続可能なプラットフォームの構築**を目指す。

**基本活動方針**

- ①**学ぶ**  
国民的運動につながる、自然（みどり）に触れ、学ぶ機会の創出
- ②**増やす**  
教育機関や企業等との協働による植樹及び都市緑化の推進とSDGsに関わる新事業の創出
- ③**活かす**  
国立・国定公園等の自然環境を保全するとともに、上質化を図り持続可能な利用を推進  
また、上質な自然環境の効用を活用して行う様々な活動の推進
- ④**伝える**  
2025年大阪・関西万博などを活用した国内外への情報発信

**政府・関連機関**

環境省・総務省・農水省・国土交通省・林野庁・観光庁 他

指導・助言

行政・自治体

**日本みどりのプロジェクト推進協議会**

- |      |          |      |             |
|------|----------|------|-------------|
| 阿部守一 | 長野県知事    | 濱田省司 | 高知県知事       |
| 鈴木英敬 | 三重県知事    | 平井伸治 | 鳥取県知事       |
| 蒲島郁夫 | 熊本県知事    | 野原莞爾 | 長野県観光機構理事長  |
| 溝畑 宏 | 大阪観光局理事長 | 吉村洋文 | 大阪府知事(入会予定) |
- ※その他の都道府県にも呼びかけ中 ※賛同行政・団体順次加盟予定

- **事務局**
- |        |               |
|--------|---------------|
| 長野県観光部 | 長野県観光機構       |
| 一般社団法人 | 大阪観光局         |
| 公益財団法人 | ナショナルパークスジャパン |
| 一般社団法人 | テラプロジェクト      |
| 一般社団法人 |               |

**パートナー**

- **学術連携**
- |            |        |
|------------|--------|
| 大阪大学名誉教授   | 小林 昭雄  |
| 東京都市大学特別教授 | 涌井史郎   |
| 東京農業大学教授   | 宮林茂幸   |
| 東海大学名誉教授   | 松本亮三   |
| 神戸大学教授     | 喜多隆    |
| その他調整中     | (順次追加) |

教育・研究機関

- **国立公園整備・活用**  
(一社) ナショナルパークスジャパン

- **都市緑化**  
(一社) テラプロジェクト  
みどりのイノベーション推進会議

- **協力コンテンツ(妖怪妖精)**  
(有) 日本妖怪研究所 亀井澄夫

- **観光・イバウト・教育など**  
(公財) 大阪観光局  
(一社) 長野県観光機構

**アンバサダー**

- ・市川海老蔵 ・隈研吾  
・渡辺謙 (ほか予定)

**企業**

事業者・企業

- **参加企業（予定）**  
日本旅行・凸版印刷・リバー産業・八芳園など  
(お声がけ企業含む・順次追加)

**理念策定会議**

- **有識者で構成**  
渡辺謙 市川海老蔵  
隈研吾 星野佳路  
など

2025年日本国際博覧会協会

姉妹提携交流（案）

国連・国際自然保護団体

アカデミア・日本自然保護協会  
日本野鳥の会 智の木協会

公園維持管理団体  
自然保護活動団体

支援・協力

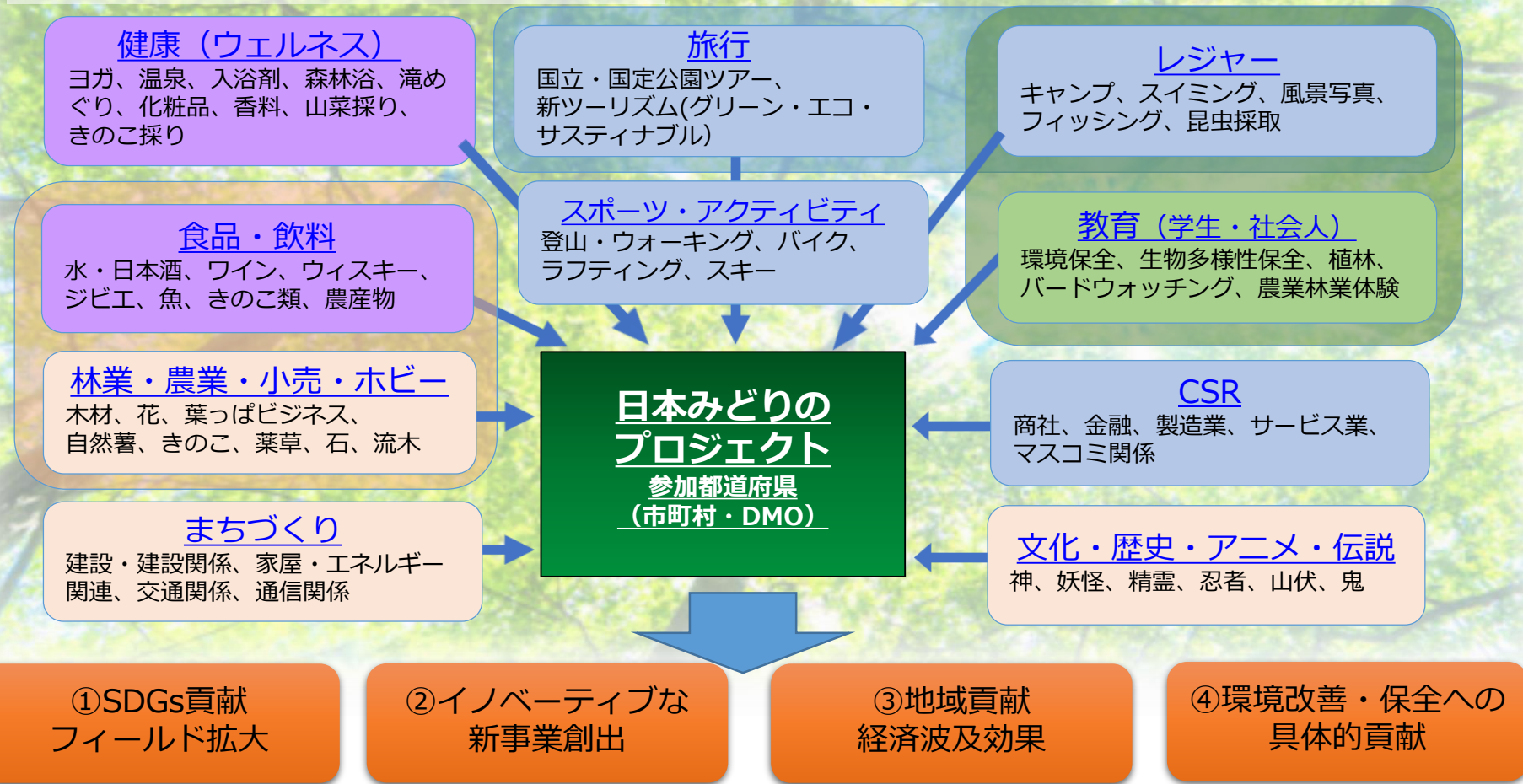
賛助協力企業

助言指導



- ・2025年の大阪・関西万博で世界へのアピールと国民への啓発
- ・環境保全やSDGsの取組みを早く・広く

- ・観光振興、文化振興、地域経済の活性化を図る、持続可能なプラットフォームの構築



- 連携・交流から生まれる、新たな観光スタイル・循環型ライフスタイルのスキーム構築
- 賛同都道府県とのビジネス連携による雇用創出と経済波及
- イノベーティブな事業提案



## 「日本みどりのプロジェクト」令和3年度活動方針

<p>①2025大阪・関西万博 「日本の自然のショーケース」 プロジェクト</p>	<p>2025大阪・関西万博において、日本の各地域を代表するような自然・日本発の先進的環境技術等を情報発信する「<b>日本の自然のショーケース</b>」の実現に向け準備する。</p>
<p>②Green Recovery プロジェクト</p>	<p>産学官連携でのイノベティブなアイデア・技術により、コロナ禍からの<b>経済回復と環境問題解決を同時に推進する</b>。</p>
<p>③GO GREEN プロジェクト</p>	<p>日本旅行と参加自治体を中心となり、<b>国立・国定公園の魅力（ストーリーの要素）を経験・共有できる旅、滞在型旅行・ワーケーションを創出する</b>。 消費者はこの体験を通して自然保護の大切さと同時に、脱炭素・脱プラなどCO2削減に向けたテーマについての<b>意識が高められるような素材を取り入れ、ライフスタイルに取り入れることを目指す</b>。</p>
<p>④ONE GREEN プロジェクト</p>	<p>都市と地方が連携し、地方における植樹や、都市緑化のための取り組みを行うと共に、<b>日々の生活空間にみどりの素晴らしさを取り入れることでQOLを向上させる</b>。</p>
<p>⑤National Park プロジェクト</p>	<p>関係機関と連携し、<b>国立・国定公園等における保護と利用の推進を行う</b>。</p>



なぜ、  
今、  
ワーケーション  
なのか？

## 1. 新型コロナリスクに対応

- ・三密を避け、豊かな自然との共生・調和
- ・みどり（自然）への関心の高まり

## 2. テレワークの普及、定着

- ・新しい働き方、生活スタイル、新常識に
- ・休日の分散化・平準化

## 3. 新たなニーズを作る ポスト・インバウンド観光

- ・美しい景観、非日常空間の中で、リラックス、リフレッシュ
- ・クリエイティブ、イノベティブな発想
- ・職住近接、大都市型ワーケーション
- ・身近な場所の魅力の再発見
- ・新たな観光スタイルやニーズを喚起・発掘
- ・ブレジャー（ビジネス+レジャー）

# 政府の「グリーン成長戦略」における取組み

自然を活用した「ワーケーション」



都市と地域の交流人口を増加させる！

ライフスタイルイノベーションが促す地域循環共生圏（ワーキング・余暇・レジャー編）

# 都市部近郊 ワーケーション (例：大阪府)

## 【メリット】

### ①移動が便利 (新幹線の駅、空港に近い)

移動時の感染リスクが低く、緊急時の対応にも、自宅、会社等に戻り易く安心感がある。

### ②主要観光地・京都、奈良、神戸に近い

主要な観光地・京都、奈良、神戸に近く、手頃に観光を楽しめる。

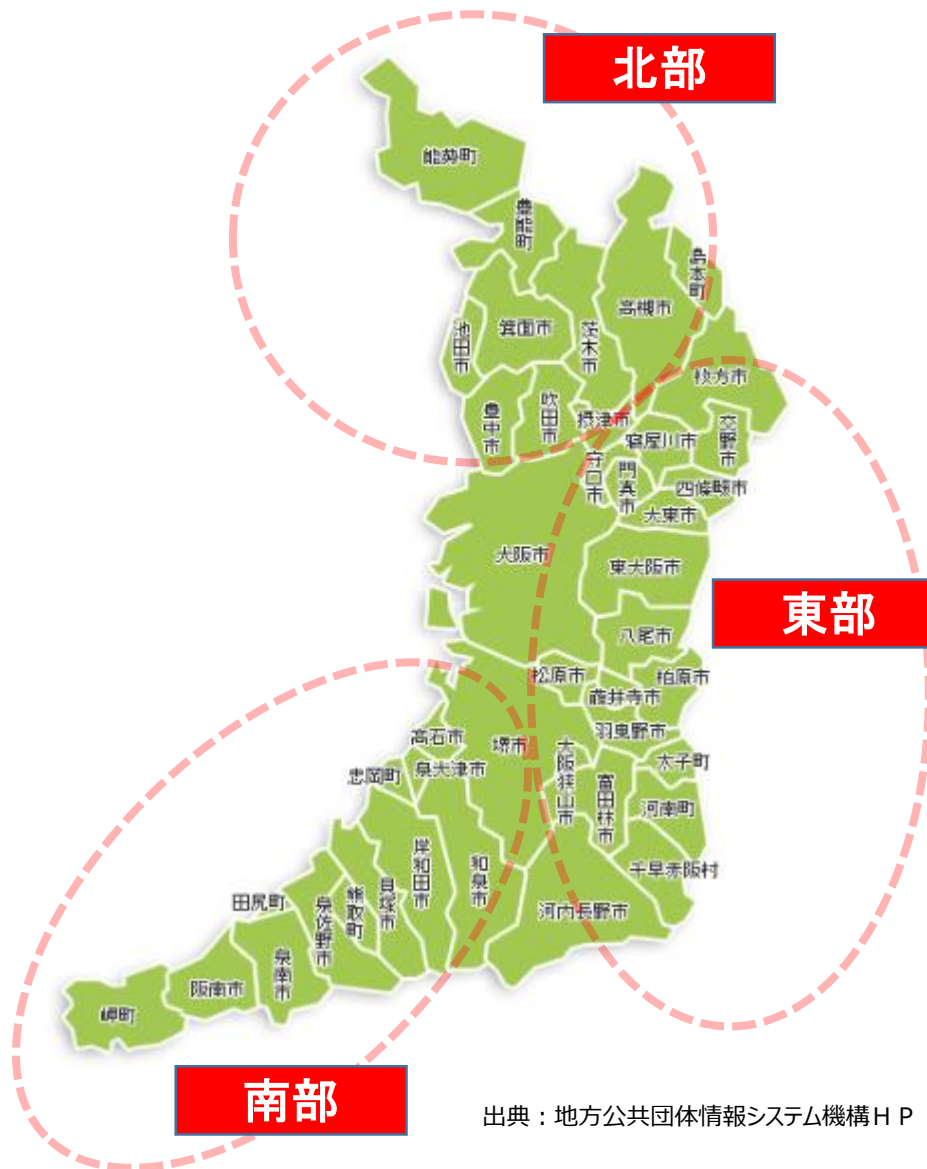
### ③エンターテインメント、スポーツ観戦が容易

イベント開催地に近いので、仕事終わりや休日にはミュージアムでの観覧、観劇、スタジアム観戦などが容易で、楽しみの選択肢が広がる。

## 【大阪府内の都市近郊型ワーケーション想定地域】

- 北部エリア：豊能、三島
- 東部エリア：北河内、中河内、南河内
- 南部エリア：泉北、泉南

南部エリア一例



出典：地方公共団体情報システム機構HP



## 新たな 都市型ワーケーション

### ① 平日の都市型リゾートでワーケーション

コンラッド、Wホテル（2021年3月予定）・リッツカールトンなど大阪中心部の高級ホテルや大阪市ベイエリアのロッジ舞洲等を利用し、滞在型都市リゾート気分を満喫できる。

### ② コンパクトに食い倒れ・大阪を満喫

ホテル近隣のなんばや梅田などで、大阪を代表する料理や食を味わい、食の都大阪を堪能できる。

### ③ 移動が便利（新幹線の駅、空港に近い）

移動時の感染リスクが低く、緊急時の対応にも、自宅、会社等に戻り易く、安心感がある。

### ④ 主要観光地・京都、奈良、神戸に近い

主要な観光地・京都、奈良、神戸に近く、手頃に観光を楽しむ。

### ⑤ エンターテインメント、スポーツ観戦が容易

イベント開催地に近いので、仕事終わりや休日にはミュージアムでの観覧、観劇、スタジアム観戦などが容易で、楽しみの選択肢が広がる。

